

平成28年

鹿児島県の観光の動向  
～鹿児島県観光統計～



平成29年10月



鹿児島県PR・観光戦略部観光課



# 目次

「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方 . . . . . P 3

## ■ 平成 28 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(概要)

- 1 延べ宿泊者数・延べ日帰り客数 . . . . . P 10
- 2 外国人延べ宿泊者数 . . . . . P 10
- 3 観光消費額 . . . . . P 11

## ■ 平成 28 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(詳細)

- 1 宿泊者数
  - (1) 月別延べ宿泊者数 . . . . . P 16
  - (2) 発地別県外延べ宿泊者数 . . . . . P 17
  - (3) 交通機関別県外延べ宿泊者数 . . . . . P 18
  - (4) 外国人延べ宿泊者数 . . . . . P 19
- 2 地区別の動向
  - (1) 地区別延べ宿泊者数 . . . . . P 21
  - (2) 地区別延べ日帰り客数 . . . . . P 31
  - (3) 地区別延べ宿泊者数+地区別延べ日帰り客数 . . . . . P 32
  - (4) 地区別外国人延べ宿泊者数 . . . . . P 33

## ■ 参考資料

- 1 全国における宿泊者の動向
  - (1) 月別延べ宿泊者数(平成 28 年) . . . . . P 36
  - (2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 28 年) . . . . . P 36
  - (3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 28 年) . . . . . P 36
- 2 九州における宿泊者の動向
  - (1) 九州各県別延べ宿泊者数 . . . . . P 37
  - (2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数 . . . . . P 38
- 3 鹿児島県観光動向調査
  - (1) 月別の宿泊客数 . . . . . P 39
  - (2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数 . . . . . P 39
  - (3) 旅行形態別延べ宿泊客数 . . . . . P 40
  - (4) 月別旅行形態の動向 . . . . . P 41
- 4 教育旅行の受入状況
  - (1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況(推移) . . . . . P 42
  - (2) 月別の教育旅行の受入状況(平成 27 年～28 年) . . . . . P 42
  - (3) 県内地区別の教育旅行の受入状況(平成 27 年～28 年) . . . . . P 43
  - (4) 学校種別の構成比(平成 28 年) . . . . . P 43
- 5 スポーツ合宿の受入状況
  - (1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況(推移) . . . . . P 44
  - (2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況(平成 27 年度～28 年度) . . . . . P 44
  - (3) 団体区分(カテゴリー)の状況 . . . . . P 45
  - (4) 発地別の状況 . . . . . P 45
  - (5) 交通手段の状況 . . . . . P 46
  - (6) 競技種目の状況 . . . . . P 46

6	コンベンションの開催状況	P 4 7
7	国際観光船受入状況	
(1)	全国におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 8
(2)	鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 9

## 鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～の見方

この「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」は、平成28年（1月～12月）1年間の宿泊者（延べ宿泊者数）、日帰り客（延べ日帰り客数）及び外国人宿泊者（外国人延べ宿泊者数）の動向等について、「宿泊旅行統計」（観光庁）※注1、「観光入込客統計」（観光庁）※注2、「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）※注3の統計結果や、県内各市町村、関係機関等の御協力を得て実施した観光地点入込状況、交通機関利用状況等の調査をとりまとめたものである。

### ※ 注1 「宿泊旅行統計」（観光庁）

#### （1）調査の目的

宿泊旅行統計調査は、我が国の宿泊旅行の実態を全国規模で把握することを目的とする。

#### （2）調査の対象

日本国内において宿泊業を営む、ホテル、旅館、簡易宿所、会社、団体の宿泊所などの全宿泊施設である。

なお、事業所母集団データベース（総務省）をもとに観光庁で補正を加えた母集団名簿により調査を行った。

【鹿児島県内の対象施設数】※平成28年12月時点

鹿児島県内の対象施設数	1,358施設
従業員数10人以上の宿泊施設数	221施設
従業員数9人以下の宿泊施設数	1,137施設

#### （3）調査の時期

四半期毎

#### （4）抽出方法

調査対象施設の抽出については以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所：全数調査
- 従業者数5人～9人の事業所：1/3を無作為に抽出するサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所：1/9を無作為に抽出するサンプル調査

#### （5）主な調査事項

- 各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数
- 各月の延べ宿泊者数の居住地別内訳（県内、県外の別）
- 各月の外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳

#### （6）調査の方法

調査は、観光庁から調査対象施設へ調査票を配布し、報告者（調査対象施設）が自ら調査票に記入し返送する方法で実施した。

また、調査の実施、審査・集計等については民間に委託して実施した。

#### (7) 結果の推定方法

調査の未回収分については、調査結果に施設所在地（47区分）×従業者数（5区分）の層ごとに母集団施設数に対する回収施設の逆数（母集団施設／回収施設数）を乗じて合算した。

なお、平成28年の調査を通じて1年間、標本の総和が1,000人泊（人）以上になる結果表セルにおいて50%以上のシェアを占める標本については、別途層を設け、乗率 $Nh/nh=1$ とした。

以上より、統計の推定値は次の式で表される。

$$G = \sum_h \frac{N_h}{n_h} \sum_i X_{hi}$$

G : 総計（延べ宿泊者数等）の推定値

X<sub>hi</sub> : 第h層の第i番目の施設の調査結果（延べ宿泊者数等）

n<sub>h</sub> : 第h層の標本（回収）施設数

N<sub>h</sub> : 第h層の母集団施設数

また、各月ごとの調査結果を、平成28年1月1日時点で把握した平成27年中の調査対象施設の開業、廃業等施設数を反映させ、各月毎の調査対象施設数により、遡及して推計し直した。

#### (8) 用語の解説

##### 「宿泊施設」

旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいう。

##### 「従業者数」

従業者とは、当該宿泊施設で働いているすべての人をいう（実人員数）。派遣労働者、在籍出向など出向元に籍がありながら当該施設に来て働いている人、下請けとして他の会社など別経営の事業所から来て働いている人を含む。なお、宿泊施設以外の施設（遊園地、ゴルフ場、スキー場、プール等）を併設している場合で、会計上も宿泊施設営業と他の事業に分けている場合は宿泊施設営業に従事している人のみとした。

##### 「延べ宿泊者数」

延べ宿泊者数とは、各月における宿泊者（寝具を使用して施設を利用するもの。子供や乳児を含む。）の延べ人数をいう。

##### 「外国人延べ宿泊者数」

外国人延べ宿泊者数とは、各月における外国人（日本国内に住所を有しないもの）の宿泊者の延べ人数をいう。ただし、日本国内の住所の有無による回答が困難な施設は、日本の国籍を有しないものを外国人宿泊者として回答しても差し支えないこととした。

## ※ 注2 「観光入込客統計」(観光庁)

### (1) 調査の目的

観光庁では、地域間で観光に関する現状や動向を全国的に比較できるようにしつつ、観光振興に資するため、平成21年12月に観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定した。

本県では、平成22年4月から当該基準を導入した調査を実施し、結果を観光庁に報告している。

### (2) 調査の時期

四半期毎

### (3) 調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

#### ①観光地点等入込客数調査(全数調査)

県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査する。

#### ②観光地点パラメータ調査(サンプル調査)

県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査する。

#### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

### (4) 集計・公表する項目

- 観光地点を訪れた観光入込客数
- 観光地点を訪れた観光入込客一人当たりの平均消費額
- 観光地点を訪れた観光入込客の総消費額

### (5) 用語の解説

#### 「観光地点」

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設等を意味し、次に掲げる要件を全て満たすものを集計の対象としている。

- ① 非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

#### 「観光入込客」

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本基準では観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客としている。

※ 注3 「鹿児島県観光動向調査」(鹿児島県)

(1) 調査の目的

本県では最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、一般の各観光関係者のビジネスや効果的な事業展開等広く民間の活用に資するため、平成19年4月から県内の主要宿泊施設、観光施設等を対象として、宿泊の入込状況についてアンケート調査を実施している。

(2) 調査の時期

毎月

(3) 調査の対象

- ① ホテル・旅館 77 施設
- ② 観光施設 21 施設
- ③ ドライブイン 4 施設

※平成28年12月時点回答施設数

(4) 調査方法及び留意事項

毎月、対象施設に調査票を送付し、調査結果を取りまとめている。  
調査対象施設については、新たに建設されたものなどを追加している。

(5) 主な調査事項

〈宿泊施設〉

- 延べ宿泊客数(全宿泊客数, 外国人宿泊客数)
- 宿泊形態(団体, 個人旅行の別)
- 発地別宿泊客数 等

〈観光施設・ドライブイン〉

- 入場者, 来場者数 等

(6) 「発地別県外延べ宿泊者数」の発地区分内訳

地区	該当都道府県等			
北海道	北海道			
東北	青森 秋田	岩手 山形	宮城	福島
関東	茨城 千葉	栃木 東京	群馬 神奈川	埼玉 山梨
北陸	新潟	福井	富山	石川
中部	静岡	愛知	岐阜	長野
関西	滋賀 兵庫	京都 三重	大阪 和歌山	奈良
中国	鳥取 山口	島根	岡山	広島
四国	徳島	香川	愛媛	高知
九州	福岡 大分	佐賀 宮崎	長崎	熊本
沖縄	沖縄			
国外	日本以外の全ての国			



## 1 地区別延べ宿泊者数の推定の方法

地区別の宿泊者数については、県が観光庁から宿泊旅行統計調査の調査票情報（鹿児島県内の宿泊施設分）の提供を受け、施設所在地区別に推定を行った。

「地区別延べ宿泊者数」等の施設所在地区別の内訳

地区名	該当市町村			
鹿児島地区	鹿児島市			
指宿地区	指宿市			
霧島地区	霧島市			
北薩地区	阿久根市 長島町	薩摩川内市	出水市	さつま町
大隅地区	鹿屋市 大崎町 肝付町	垂水市 東串良町	曾於市 錦江町	志布志市 南大隅町
種子島地区	西之表市	中種子町	南種子町	
屋久島地区	屋久島町			
奄美地区	奄美市 龍郷町 伊仙町	大和村 喜界町 和泊町	宇検村 徳之島町 知名町	瀬戸内町 天城町 与論町
その他地区	枕崎市 南九州市 三島村	日置市 伊佐市 十島村	いちき串木野市 始良市	南さつま市 湧水町

## 2 地区別延べ日帰り客数の推定の方法

地区別の日帰り客数については、県が観光庁に報告する調査票情報を用いて施設所在地区別に推定を行った。

※施設所在地区別の内訳については上表と同じ

## 3 日帰り客の延べ人数の推定の方法

日帰り客数について観光庁は、観光地点を訪れた観光入込客数（延べ人数）を平均訪問地点数で割った、観光入込客数（実人数）で公表しているが、本統計においては、平均訪問地点数で割る前の延べ人数を用いた。

※「延べ人数」と「実人数」の違い

「実人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回分と数えることとなる。

「延べ人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の3つの観光地点を訪れたとしたら、3回分と数えることとなる。

## 4 発地別県外延べ宿泊者数について

発地別県外延べ宿泊者数については、「鹿児島県観光動向調査」のデータを用いた。

## 5 交通機関別県外延べ宿泊者数について

観光庁「宿泊旅行統計」の県外延べ宿泊者数をベースとして、鉄道、バス、航空、船舶事業者及び高速道路事業者の協力により得られたデータをもとに、県が交通機関別に推定を行った。



# **平成 28 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(概要)**

## 平成28年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の概要

- ・「延べ宿泊者数」は7,202千人で、前年比9.7%の減少
- ・「延べ日帰り客数」は13,112千人で、前年比7.7%の減少
- ・「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計は20,314千人で、前年比8.4%の減少
- ・「外国人延べ宿泊者数」は480,920人で、前年比15.7%の増加
- ・「観光消費額」は2,576億円で、前年比9.2%の減少

### 1 延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】・延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 平成28年の鹿児島県内の宿泊施設の延べ宿泊者数は7,202,190人で、前年比9.7%の減少となった。

また、平成28年の鹿児島県内の観光地点における観光目的の延べ日帰り客数は13,112,000人で、前年比7.7%の減少となった。

外国人客は増加したものの、4月に発生した熊本地震による影響等により全体としては減少した。

	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
延べ宿泊者数 (1～12月分)	7,202,190		7,972,730		-9.7%	
	5,126,650	1,969,960	5,492,400	2,345,180	-6.7%	-16.0%
延べ日帰り客数 (1～12月分)	13,112,000		14,202,000		-7.7%	
	2,416,000	10,695,000	2,273,000	11,929,000	6.3%	-10.3%
合計	20,314,190		22,174,730		-8.4%	
	7,542,650	12,664,960	7,765,400	14,274,180	-2.9%	-11.3%

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

### 2 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

■ 平成28年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は480,920人であり、前年比15.7%の増加となった。

香港：香港航空の増便や、香港エクスプレスの就航等により増加。

中国：長期宿泊団体があったことや、個人客の増加。

台湾：熊本地震の影響による減少。

韓国：熊本地震の影響や、昨年釜山チャーター便があったことからの反動等により減少。

外国人延べ宿泊者数	前年比(増減率)
平成28年 480,920	15.7%
(平成27年) 415,730	

※ 全宿泊施設が調査対象

国籍別外国人延べ宿泊者数(構成比)	前年比(増減率)
韓国 60,010 (13.9%)	-0.7%
台湾 108,250 (25.2%)	-14.7%
中国 59,610 (13.9%)	18.5%
香港 123,680 (28.7%)	92.3%
米国 10,710 (2.5%)	11.1%
シンガポール 6,790 (1.6%)	-34.3%
タイ 4,420 (1.0%)	21.8%
その他 56,780 (13.2%)	18.8%
合計(平成27年) 430,250 (373,240)	15.3%

※ 従業者数10人以上の施設が調査対象

※ その他には国籍(出身地)不詳を含む

### 3 観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 鹿児島県への観光入込客の観光消費額は 257,550 百万円で、9.2%の減少となった。

		(百万円)					
		平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
日本人	宿泊	182,977		205,620		-11.0%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
	145,742	37,234	157,992	47,628	-7.8%	-21.8%	
	日帰り	47,607		48,926		-2.7%	
県外		県内	県外	県内	県外	県内	
16,980	30,627	17,462	31,464	-2.8%	-2.7%		
訪日外国人		26,967		29,133		-7.4%	
合計		257,550		283,679		-9.2%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		189,689	67,862	204,587	79,092	-7.3%	-14.2%

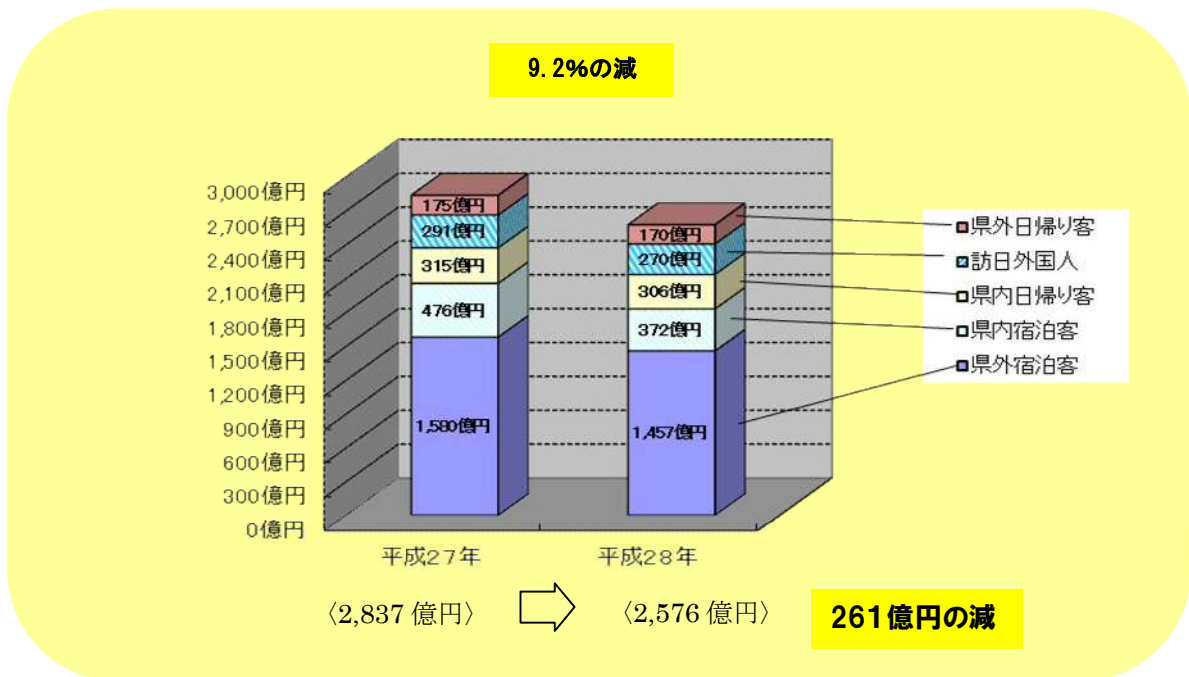
【参考 観光消費額単価】 (円)

		平成28年		平成27年	
日本人	宿泊	32,120		31,532	
		県外	県内	県外	県内
	38,386	19,598	37,183	20,963	
	日帰り	4,447		4,563	
県外		県内	県外	県内	
7,476	3,631	8,444	3,450		
訪日外国人		76,072		88,820	

※ 観光消費額は、実人数（単位：人回）を基に観光消費額単価を算出している。実人数については観光入込客統計の共通基準に則り、観光庁の宿泊旅行統計に推計を行い算出している。

- ※1 観光消費額単価は、旅行者が1回の旅行で使用した金額である。
- ※2 観光消費額単価については、鹿児島県内で消費した金額である。

### ■ 観光消費額の前年との比較



## ○ 参考

### 1 延べ宿泊者数

	平成23年		前年比(増減率)	平成24年		前年比(増減率)	平成25年		前年比(増減率)	平成26年		前年比(増減率)	平成27年		前年比(増減率)	平成28年		前年比(増減率)
	県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内	
延べ宿泊者数	6,795,810		5.6%	6,870,930		1.1%	7,322,530		6.6%	7,534,490		2.9%	7,972,730		5.8%	7,202,190		-9.7%
	4,747,660	1,990,550		4,753,990	1,990,650		5,145,650	2,061,060		5,280,060	2,155,620		5,492,400	2,345,180		5,126,650	1,969,960	
延べ日帰り客数	13,691,000		2.8%	13,346,000		-2.5%	13,183,000		-1.2%	13,332,000		1.1%	14,202,000		6.5%	13,112,000		-7.7%
	2,754,000	10,937,000		3,342,000	10,004,000		1,821,000	11,362,000		1,950,000	11,382,000		2,273,000	11,929,000		2,416,000	10,695,000	
合計	20,486,810		3.8%	20,216,930		-1.3%	20,505,530		1.4%	20,866,490		1.8%	22,174,730		6.3%	20,314,190		-8.4%
	7,501,660	12,927,550		8,095,990	11,994,650		6,966,650	13,423,060		7,230,060	13,537,620		7,765,400	14,274,180		7,542,650	12,664,960	

(注)居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

### 2 外国人延べ宿泊者数

	平成23年		前年比(増減率)	平成24年		前年比(増減率)	平成25年		前年比(増減率)	平成26年		前年比(増減率)	平成27年		前年比(増減率)	平成28年		前年比(増減率)
	外国人延べ宿泊者数	92,890		-28.0%	170,570		83.6%	214,810		25.9%	266,000		23.8%	415,730		56.3%	480,920	
外国人延べ宿泊者数	92,890	-28.0%	170,570	83.6%	214,810	25.9%	266,000	23.8%	415,730	56.3%	480,920	15.7%						

(注)全宿泊施設が対象。

### <国籍別外国人延べ宿泊者数>

	平成22年	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
			前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)
韓国	60,620	35,520	-41.4%	45,370	27.7%	44,910	-1.0%	48,930	9.0%	60,410	23.5%	60,010	-0.7%
台湾	21,670	14,630	-32.5%	45,240	209.2%	75,470	66.8%	98,400	30.4%	126,850	28.9%	108,250	-14.7%
中国	8,220	6,890	-16.2%	10,820	57.0%	11,880	9.8%	23,250	95.7%	50,300	116.3%	59,610	18.5%
香港	4,930	4,900	-0.6%	9,920	102.4%	11,810	19.1%	28,660	142.7%	64,300	124.4%	123,680	92.3%
米国	7,360	4,070	-44.7%	6,170	51.6%	8,760	42.0%	9,710	10.8%	9,640	-0.7%	10,710	11.1%
シンガポール	2,860	1,750	-38.8%	3,230	84.6%	4,750	47.1%	6,420	35.2%	10,330	60.9%	6,790	-34.3%
タイ	470	690	46.8%	980	42.0%	2,130	117.3%	2,810	31.9%	3,630	29.2%	4,420	21.8%
その他	19,870	16,830	-15.3%	16,390	-2.6%	26,890	64.1%	34,150	27.0%	47,780	39.9%	56,780	18.8%
合計	126,000	85,280	-32.3%	138,120	62.0%	186,600	35.1%	252,330	35.2%	373,240	47.9%	430,250	15.3%

※従業者数10人以上の施設が調査対象

※その他には国籍(出身地)不詳を含む

### 3 観光消費額

(百万円)

	平成23年			平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年		
	県外	県内	前年比(増減率)	県外	県内	前年比(増減率)	県外	県内	前年比(増減率)	県外	県内	前年比(増減率)	県外	県内	前年比(増減率)	県外	県内	前年比(増減率)
日本人	178,336		80.2%	200,560		12.5%	191,796		-4.4%	198,726		3.6%	205,620		3.5%	182,977		-11.0%
	155,440	22,896		※	161,971		38,589	152,513		39,283	156,340		42,386	157,992		47,628	145,742	
	宿泊	45,086	21.6%	38,130		-15.4%	39,223		2.9%	44,120		12.5%	48,926		10.9%	47,607		-2.7%
日帰り	19,680	25,406		※	17,575		20,555	14,057		25,166	16,419		27,629	17,462		31,464	16,980	
訪日外国人	4,681		-30.1%	14,112		201.5%	15,024		6.5%	19,844		32.1%	29,133		46.8%	26,967		-7.4%
合計	228,103		59.8%	252,802		10.8%	246,043		-2.7%	262,690		6.8%	283,679		8.0%	257,550		-9.2%
	179,801	48,302		※	193,658		59,144	181,594		64,449	192,675		70,015	204,587		79,092	189,689	
	合計																	

※平成22年と平成23年の比較について

平成22年度の数値と平成23年の数値を比較(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月から開始されており、平成22年3月以前の数値はないため)。





# **平成 28 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(詳細)**

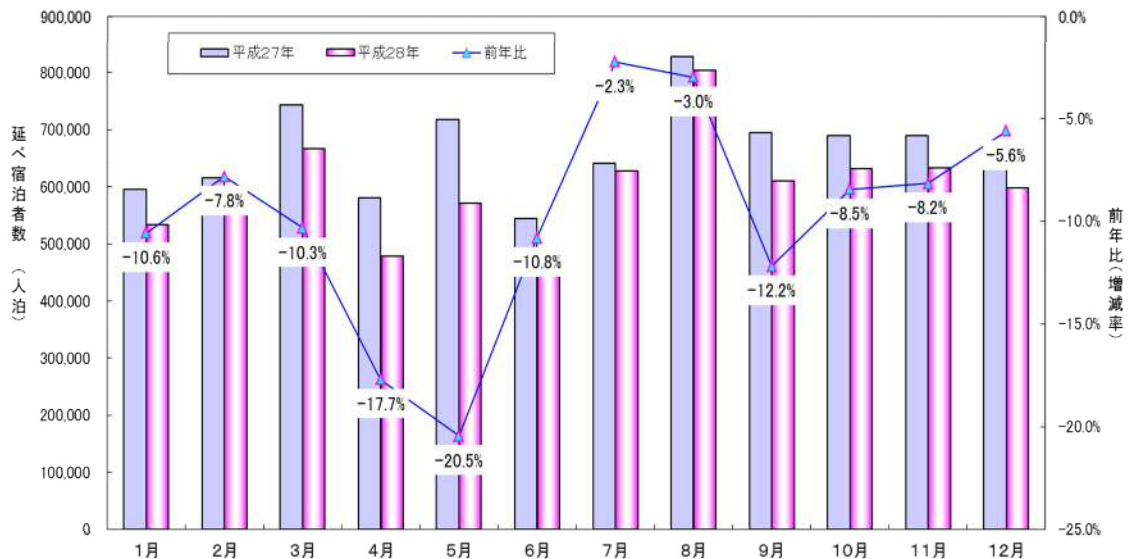
# 1 宿泊者数

## (1) 月別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

- ・ 4月に発生した熊本地震の影響等より、全ての月で宿泊客が減少した。
- ・ 県外・県内からの宿泊者ともに減少した。

	平成28年			平成27年			平成28年			平成27年			
	県外	県内	合計	県外	県内	合計	県外	県内	合計	県外	県内	合計	
1月	362,400	155,280	532,650	396,430	188,380	595,650	567,180	226,610	803,290	544,890	269,590	828,100	
2月	411,720	140,350	567,620	434,240	170,550	615,800	461,910	146,210	610,100	478,350	205,030	694,870	
3月	487,110	166,690	665,930	532,320	197,120	742,730	458,330	165,710	630,750	489,850	190,290	688,990	
4月	334,700	136,190	477,740	416,500	163,340	580,490	468,830	158,610	632,810	484,500	192,440	689,060	
5月	391,020	167,290	571,100	507,450	201,390	717,960	424,200	171,170	597,280	419,470	194,280	632,800	
6月	333,440	141,990	486,150	366,010	160,130	545,090	合計	5,126,650	1,969,960	7,202,190	5,492,400	2,345,180	7,972,730
7月	425,810	193,860	626,750	422,400	212,650	641,190	前年比(増減率)	-6.7%	-16.0%	-9.7%			

- ※ 延べ宿泊者数は四捨五入をしているため、各月の合計値と総数とは一致しない場合がある。
- ※ 合計は居住地不詳を含むため、県外・県内の合算値とは一致しない。



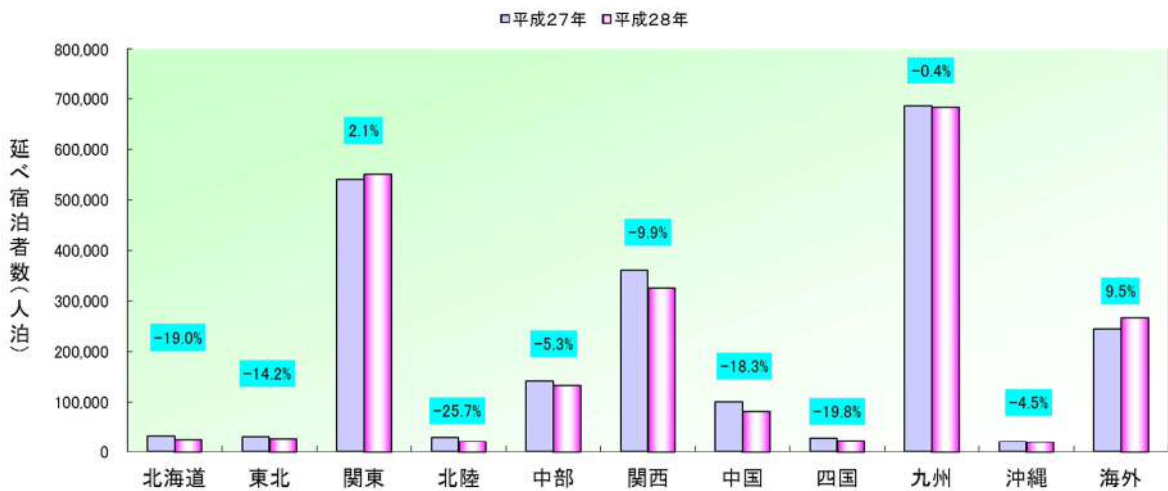
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成28年	532,650	567,620	665,930	477,740	571,100	486,150	626,750	803,290	610,100	630,750	632,810	597,280	7,202,190
平成27年	595,650	615,800	742,730	580,490	717,960	545,090	641,190	828,100	694,870	688,990	689,060	632,800	7,972,730
前年比(増減率)	-10.6%	-7.8%	-10.3%	-17.7%	-20.5%	-10.8%	-2.3%	-3.0%	-12.2%	-8.5%	-8.2%	-5.6%	-9.7%

# 1 宿泊者数

## (2) 発地別県外延べ宿泊者数 【出典：「鹿児島県観光動向調査」】

県外からの宿泊者を発地別で前年と比較すると、香港・中国からの宿泊客が増加したこと等により、海外からの宿泊者は9.5%増加した。

また、発地別構成比をみると、九州地区（31.6%）が最も多く、次いで関東地区（25.5%）、関西地区（15.1%）となっている。



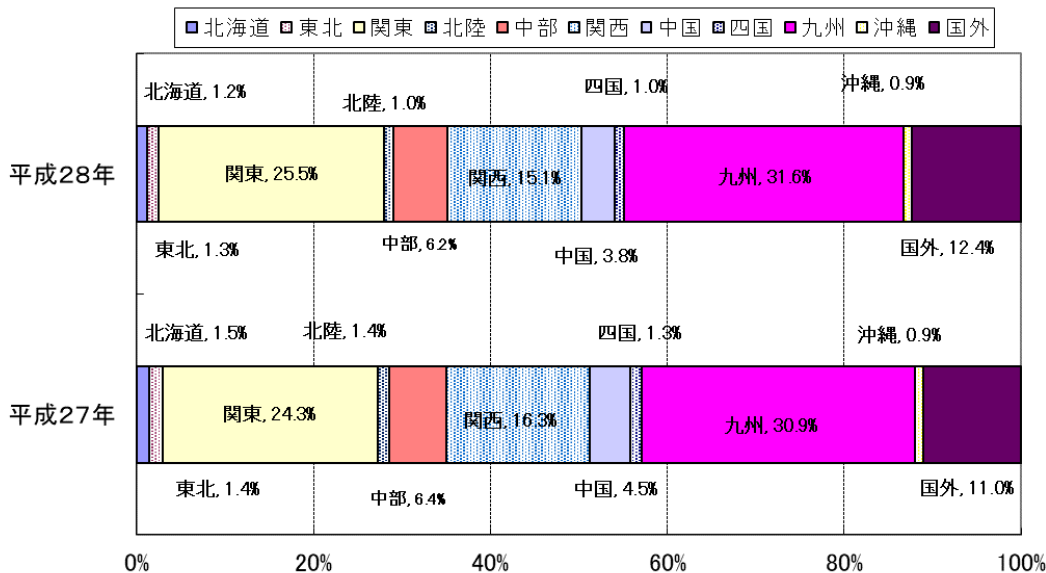
	北海道	東北	関東	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外
平成28年	26,770	27,230	551,755	22,291	134,004	325,841	82,448	22,685	683,479	20,133	267,740
平成27年	33,058	31,746	540,307	29,995	141,567	361,460	100,932	28,300	686,235	21,071	244,423
前年比(増減率)	-19.0%	-14.2%	2.1%	-25.7%	-5.3%	-9.9%	-18.3%	-19.8%	-0.4%	-4.5%	9.5%

※ 県内主要宿泊施設が調査対象であり、宿泊旅行統計とは調査手法が異なる。

※ 九州は鹿児島県を除く6県の合計

※ 平成27年の数値は、平成28年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成27年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

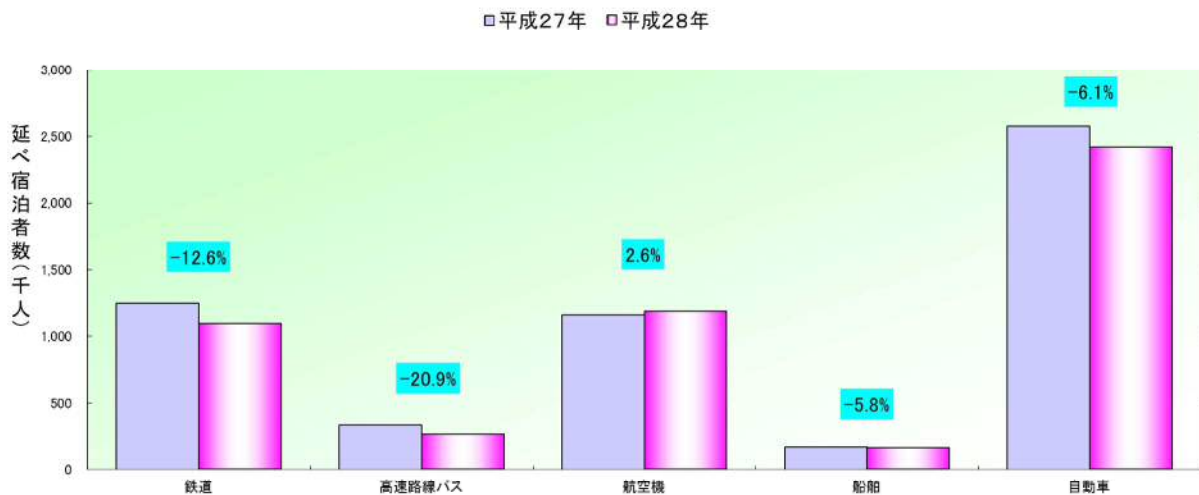
## ■ 発地別県外延べ宿泊者数の構成比



## 1 宿泊者数

### (3) 交通機関別県外延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」及び県独自調査】

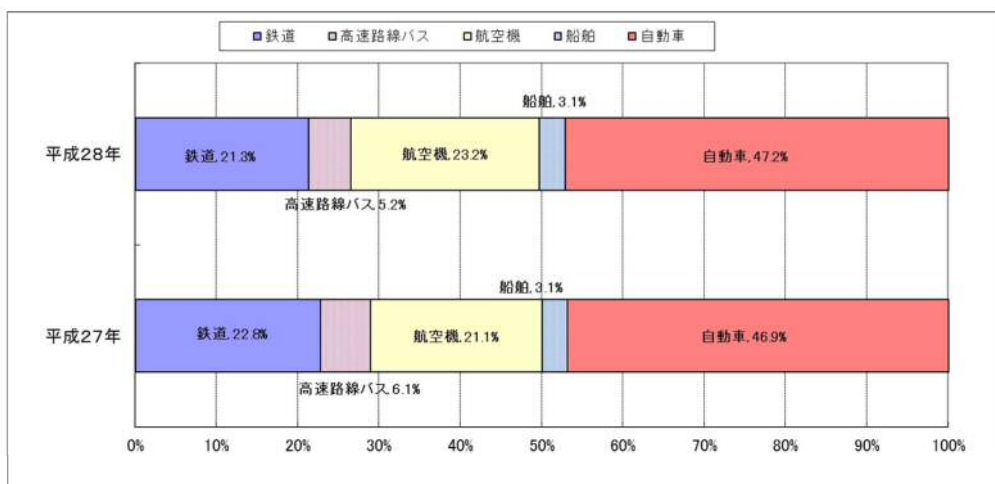
交通機関別県外延べ宿泊者数は、航空機が2.6%の増加となったものの、高速路線バスが20.9%、鉄道が12.6%、自動車が6.1%、船舶が5.8%の減少となった。また、交通機関別構成比で見ると、自動車（47.2%）が最も多く、次いで航空機（23.2%）、鉄道（21.3%）となっている。



(千人)

	鉄道	高速路線バス	航空機	船舶	自動車
平成28年	1,093	265	1,189	161	2,418
平成27年	1,251	335	1,159	171	2,576
前年比(増減率)	-12.6%	-20.9%	2.6%	-5.8%	-6.1%

### ■ 交通機関別県外延べ宿泊者数の構成比



## 1 宿泊者数

### (4) 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

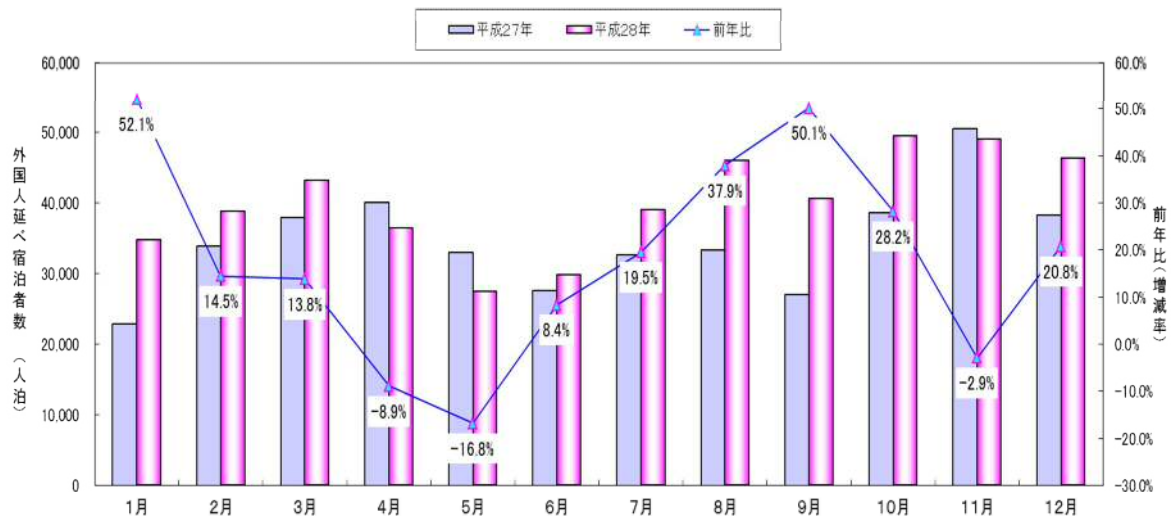
平成 28 年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年比 15.7% 増の 480,920 人と過去最高を記録した。

4 月に発生した熊本地震の影響等により 4 月・5 月で前年同月を大きく下回ったものの、その他のほとんどの月では増加し、年全体としては増加となった。

国籍別の構成比では、香港(28.7%)が最も多く、次いで台湾(25.2%)、韓国(13.9%)の順となっている。

- ・香港からの宿泊者は、香港航空が5月に週3便から週5便に増便したことや7月に香港エクスプレスが就航したこと等により、前年比 92.3% の増加。
- ・中国からの宿泊客は、1月～2月にサッカーチームのキャンプがあったこと等により鹿児島地区を中心に増加し、前年比 18.5% の増加。
- ・台湾からの宿泊客は、4月に発生した熊本地震の影響等により前年比 14.7% の減少。
- ・韓国からの宿泊客は、4月に発生した熊本地震の影響や、昨年10月～12月に釜山チャーターが運航していたことからの反動等により前年比 0.7% の減少。

### ■ 月別外国人延べ宿泊者数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成28年	34,710	38,860	43,200	36,470	27,450	29,840	38,980	46,020	40,630	49,480	49,000	46,280	480,920
平成27年	22,820	33,940	37,950	40,040	33,000	27,540	32,610	33,360	27,060	38,600	50,470	38,320	415,730
前年比(増減率)	52.1%	14.5%	13.8%	-8.9%	-16.8%	8.4%	19.5%	37.9%	50.1%	28.2%	-2.9%	20.8%	15.7%

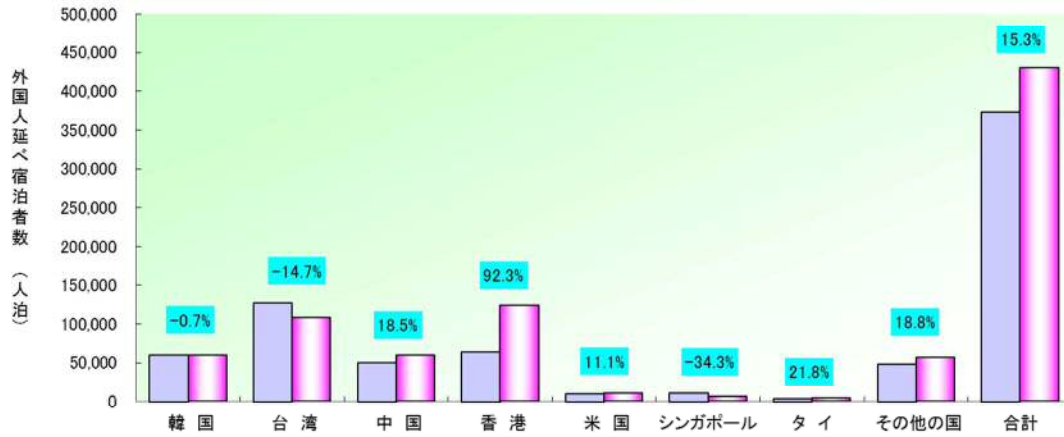
※ 従業員数9人以下の宿泊施設の宿泊者数も含む

# 1 宿泊者数

## ■ 国籍別外国人延べ宿泊者数

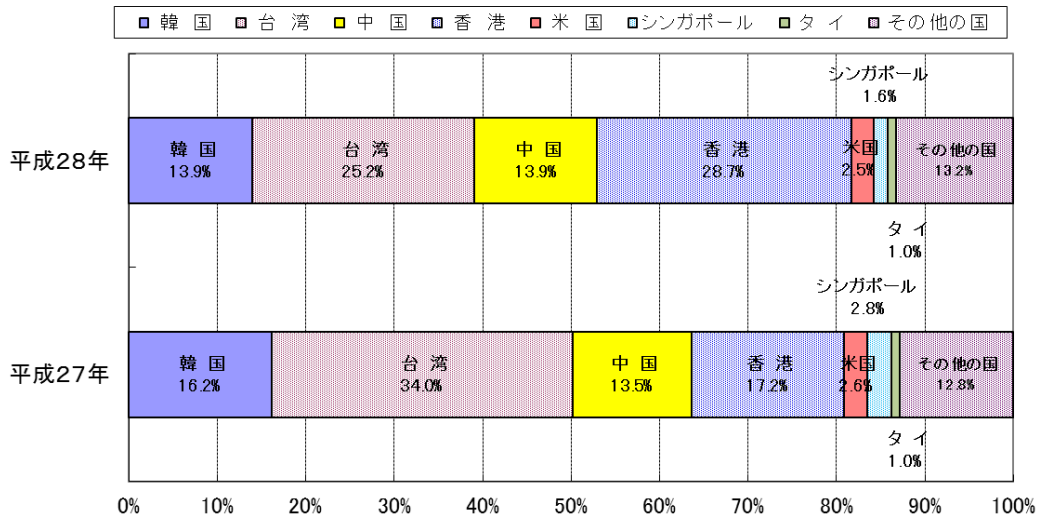
※ 従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

□平成27年 □平成28年



	韓国	台湾	中国	香港	米国	シンガポール	タイ	その他の国	合計
平成28年	60,010	108,250	59,610	123,680	10,710	6,790	4,420	56,780	430,250
平成27年	60,410	126,850	50,300	64,300	9,640	10,330	3,630	47,780	373,240
前年比(増減率)	-0.7%	-14.7%	18.5%	92.3%	11.1%	-34.3%	21.8%	18.8%	15.3%

## ■ 国籍別外国人延べ宿泊者数の構成比 (※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数)



## 2 地区別の動向

### (1) 地区別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成28年の地区別延べ宿泊者数は、全ての地区で前年を下回った。  
地区別構成比は、鹿児島地区（40.3%）が最も高く、次いで霧島地区（14.5%）、奄美地区（9.5%）となっている。

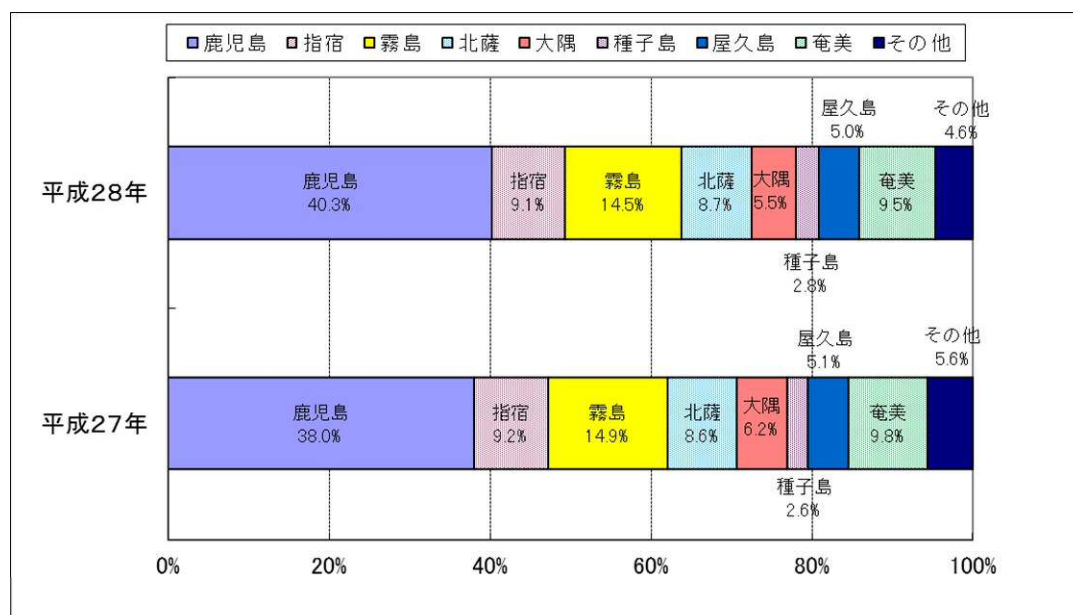
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成28年	2,901,087	653,829	1,044,402	626,589	396,195
平成27年	3,032,170	735,079	1,187,886	684,400	493,498
前年比(増減率)	-4.3%	-11.1%	-12.1%	-8.4%	-19.7%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成28年	200,949	362,229	686,881	330,010	7,202,190
平成27年	209,605	403,545	778,992	447,556	7,972,730
前年比(増減率)	-4.1%	-10.2%	-11.8%	-26.3%	-9.7%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入しているため）。

### ■ 地区別延べ宿泊者数の構成比



## 2 地区別の動向

### ■ 鹿児島地区の延べ宿泊者数の動向

鹿児島地区の延べ宿泊者数は2,901,087人で、前年比4.3%の減少。  
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少。  
 外国人宿泊客は増加したものの、熊本地震の影響等により全体としては減少。

		平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
鹿児島地区	延べ宿泊者数	2,901,087		3,032,170		-4.3%	
	1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
		2,154,993	701,959	2,167,525	805,508	-0.6%	-12.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【鹿児島地区の月別延べ宿泊者数】





## 2 地区別の動向

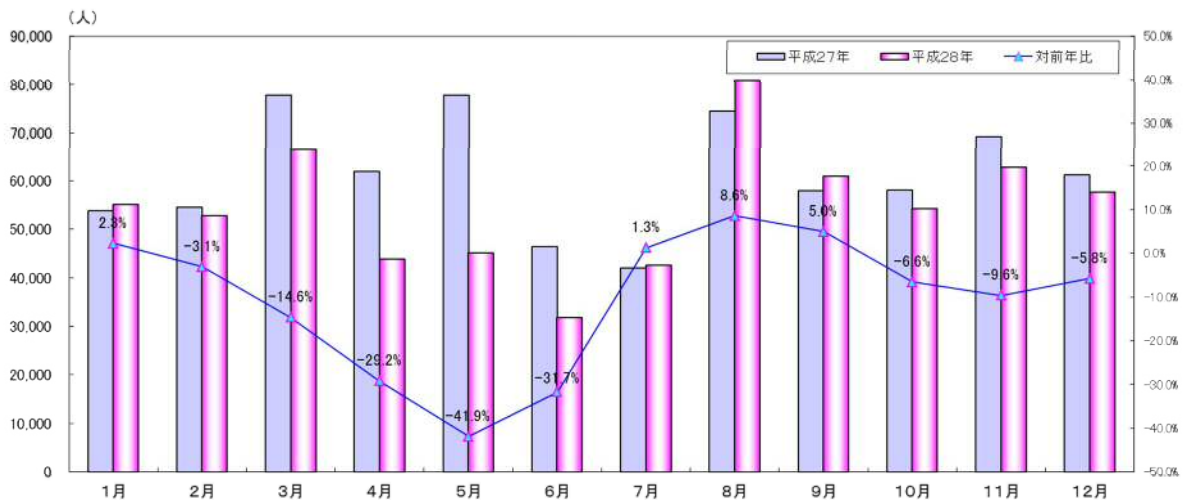
### ■ 指宿地区の延べ宿泊者数の動向

指宿地区の延べ宿泊者数は653,829人で、前年比11.1%の減少。  
 県内からの宿泊客は増加したものの、県外からの宿泊客は減少。  
 外国人宿泊客は増加したものの、熊本地震の影響や、教育旅行の入込数が減ったこと等により、全体としては減少。

指宿地区	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	653,829		735,079		-11.1%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	513,065	130,326	591,440	122,813	-13.3%	6.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【指宿地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成28年	55,063	52,793	66,373	43,821	45,176	31,721	42,596	80,931	60,808	54,237	62,641	57,669	653,829
平成27年	53,820	54,470	77,761	61,872	77,701	46,421	42,060	74,521	57,931	58,049	69,280	61,193	735,078
前年比(増減率)	2.3%	-3.1%	-14.6%	-29.2%	-41.9%	-31.7%	1.3%	8.6%	5.0%	-6.6%	-9.6%	-5.8%	-11.1%

## 2 地区別の動向

### ■ 霧島地区の延べ宿泊者数の動向

霧島地区の延べ宿泊者数は1,044,402人で、前年比12.1%の減少。

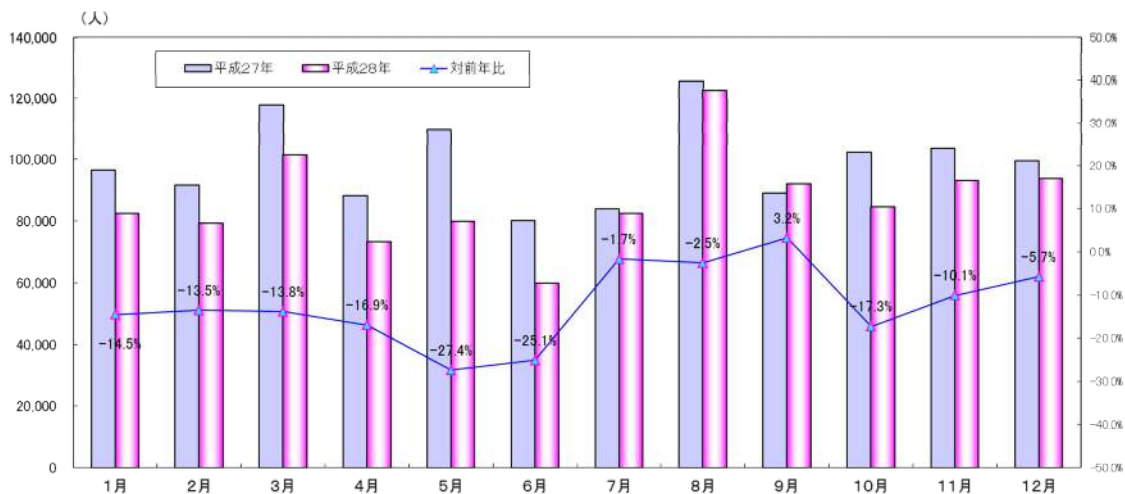
県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少。

外国人宿泊客は増加したものの、熊本地震の影響や、平成27年に釜山チャーター便が運航していたことや、大規模コンベンションがあったことからの反動等により、全体としては減少。

霧島地区	(人)				前年比(増減率)	
	平成28年		平成27年		-12.1%	
	延べ宿泊者数	1,044,402	1,187,886			
1~12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	755,226	273,656	845,116	319,999	-10.6%	-14.5%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【霧島地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成28年	82,483	79,171	101,498	73,268	79,798	59,933	82,435	122,458	91,929	84,632	92,994	93,803	1,044,402
平成27年	96,464	91,555	117,797	88,198	109,945	80,049	83,844	125,659	89,081	102,322	103,449	99,522	1,187,886
前年比(増減率)	-14.5%	-13.5%	-13.8%	-16.9%	-27.4%	-25.1%	-1.7%	-2.5%	3.2%	-17.3%	-10.1%	-5.7%	-12.1%

## 2 地区別の動向

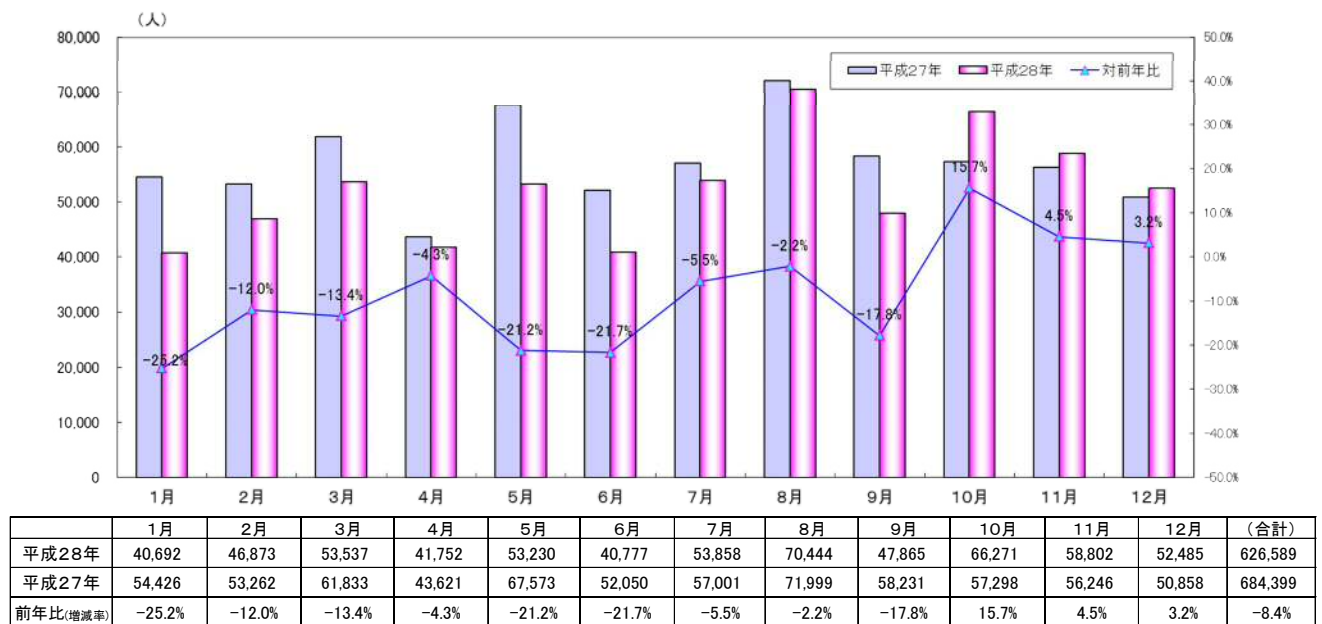
### ■ 北薩地区の延べ宿泊者数の動向

北薩地区の延べ宿泊者数は626,589人で、前年比8.4%の減少となった。  
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少した。  
 外国人宿泊客は増加したものの、熊本地震の影響等により、全体としては減少。

北薩地区	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	626,589		684,400		-8.4%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	418,940	198,951	433,424	243,116	-3.3%	-18.2%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【北薩地区の月別延べ宿泊者数】



## 2 地区別の動向

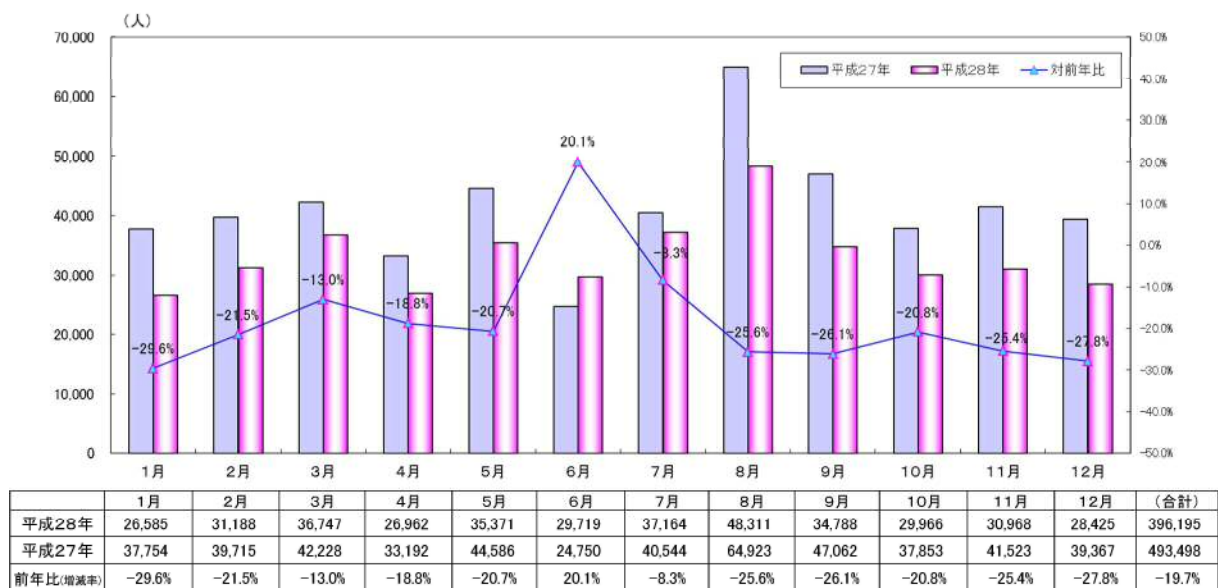
### ■ 大隅地区の延べ宿泊者数の動向

大隅地区の延べ宿泊者数は 396,195 人で、前年比 19.7%の減少。  
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少。  
 外国人宿泊客数の減少や、熊本地震の影響等により全体としては減少。

		平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
大隅地区	延べ宿泊者数	396,195		493,498		-19.7%	
	1~12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
		255,730	135,130	294,514	195,089	-13.2%	-30.7%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【大隅地区の月別延べ宿泊者数】



## 2 地区別の動向

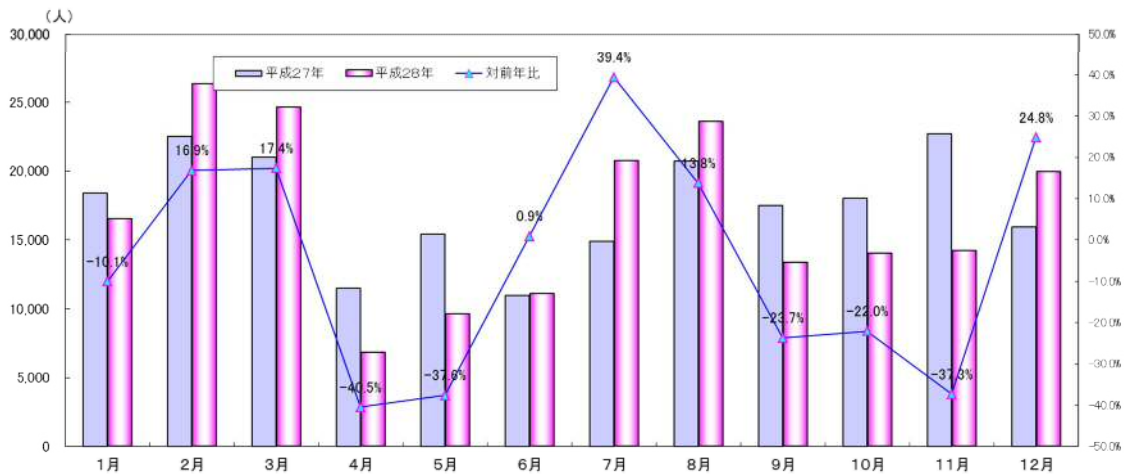
### ■ 種子島地区の延べ宿泊者数の動向

種子島地区の延べ宿泊者数は200,949人で、前年比4.1%の減少となった。県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少した。外国人宿泊客は増加し、昨年の口永良部島噴火による減少からの反動等により宿泊客が増加した月もあったものの、熊本地震の影響等により全体としては減少。

種子島地区 延べ宿泊者数 1～12月分	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	200,949		209,605		-4.1%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	111,452	87,119	109,809	99,645	1.5%	-12.6%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【種子島地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成28年	16,530	26,312	24,646	6,829	9,637	11,081	20,751	23,594	13,369	14,043	14,227	19,931	200,949
平成27年	18,382	22,516	21,001	11,471	15,435	10,980	14,889	20,737	17,523	18,012	22,693	15,965	209,605
前年比(増減率)	-10.1%	16.9%	17.4%	-40.5%	-37.6%	0.9%	39.4%	13.8%	-23.7%	-22.0%	-37.3%	24.8%	-4.1%

## 2 地区別の動向

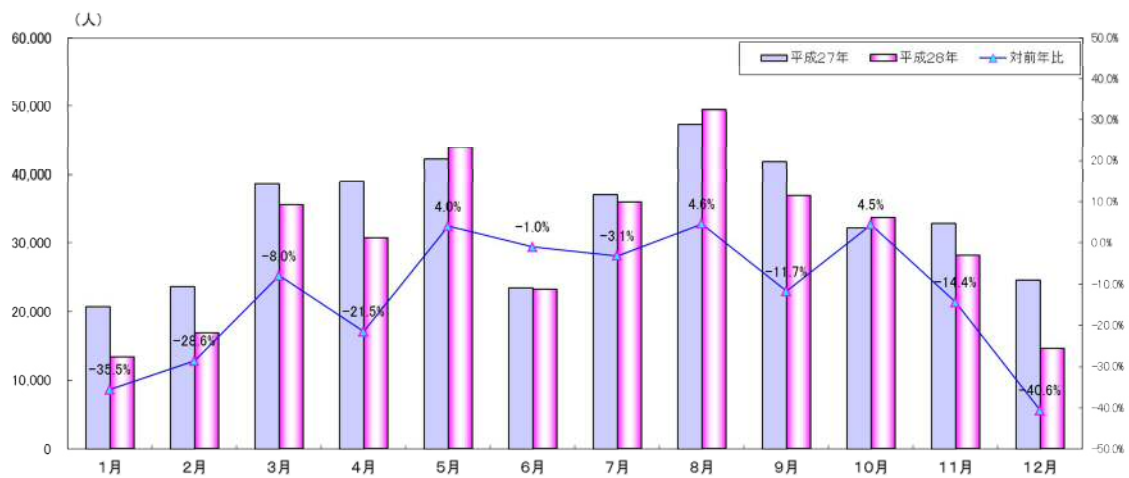
### ■ 屋久島地区の延べ宿泊者数の動向

屋久島地区の延べ宿泊者数は362,229人で、前年比10.2%の減少となった。  
 県内からの宿泊客は増加したものの、県外からの宿泊客は減少した。  
 外国人宿泊客は増加したものの、熊本地震の影響等により全体としては減少。

屋久島地区	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	362,229		403,545		-10.2%
1~12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	318,520	37,310	352,497	36,880	-9.6%	1.2%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【屋久島地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成28年	13,375	16,899	35,548	30,670	43,890	23,270	35,869	49,479	36,884	33,630	28,107	14,606	362,229
平成27年	20,753	23,673	38,630	39,067	42,191	23,505	37,026	47,289	41,793	32,196	32,836	24,588	403,545
前年比(増減率)	-35.5%	-28.6%	-8.0%	-21.5%	4.0%	-1.0%	-3.1%	4.6%	-11.7%	4.5%	-14.4%	-40.6%	-10.2%

## 2 地区別の動向

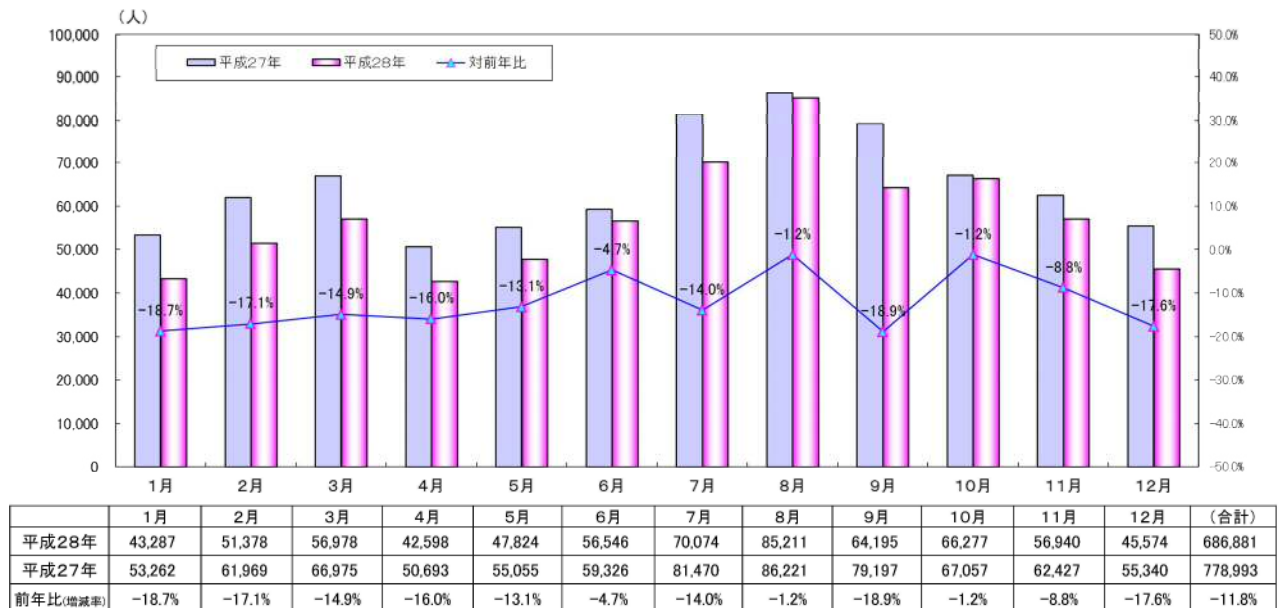
### ■ 奄美地区の延べ宿泊者数の動向

奄美地区の延べ宿泊者数は686,881人で、前年比11.8%の減少となった。  
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少した。  
 外国人宿泊客は増加したものの、熊本地震の影響等により、全体としては減少。

		平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
奄美地区	延べ宿泊者数	686,881		778,992		-11.8%	
	1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
		411,787	266,411	429,611	346,703	-4.1%	-23.2%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【奄美地区の月別延べ宿泊者数】



## 2 地区別の動向

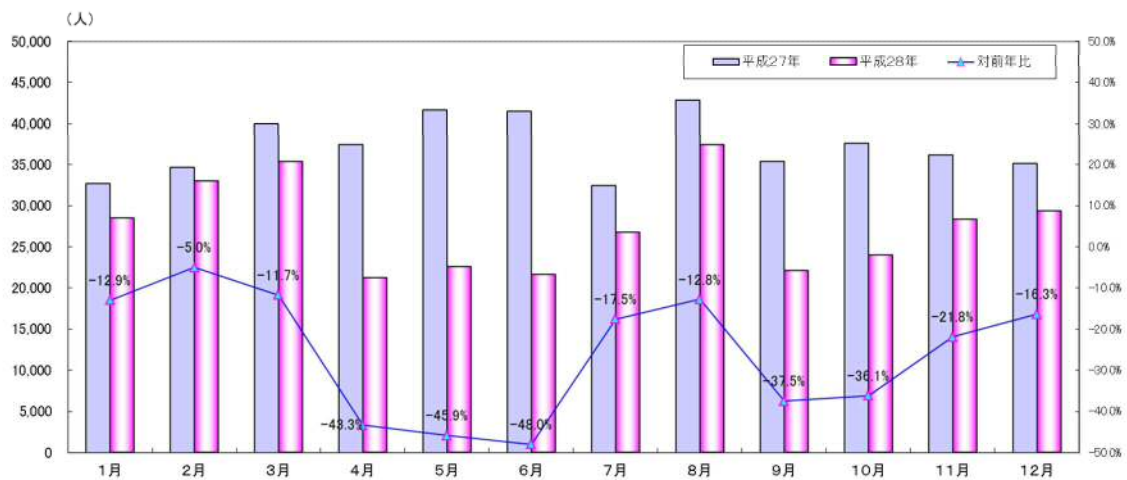
### ■ その他地区の延べ宿泊者数の動向

その他地区の延べ宿泊者数は330,010人で、前年比26.3%の減少となった。  
県内からの宿泊客、県外からの宿泊客ともに減少した。

その他地区	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	330,010		447,556		-26.3%
1~12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	186,937	139,098	268,463	175,427	-30.4%	-20.7%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

### 【その他地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成28年	28,469	32,932	35,335	21,195	22,553	21,579	26,776	37,413	22,096	24,009	28,281	29,374	330,010
平成27年	32,701	34,667	40,034	37,404	41,655	41,503	32,466	42,889	35,349	37,597	36,183	35,107	447,556
前年比(増減率)	-12.9%	-5.0%	-11.7%	-43.3%	-45.9%	-48.0%	-17.5%	-12.8%	-37.5%	-36.1%	-21.8%	-16.3%	-26.3%



## 2 地区別の動向

### (2) 地区別延べ日帰り客数 【出典：観光庁「観光入込客統計」を用いて県で推定】

平成 28 年の延べ日帰り客数は、県内の全ての地区で前年を下回り、全体としては前年比 7.7%の減少となった。

地区別構成比は、鹿児島地区(27.4%)が最も高く、次いで霧島地区(19.0%)、北薩地区(15.5%)となっている。

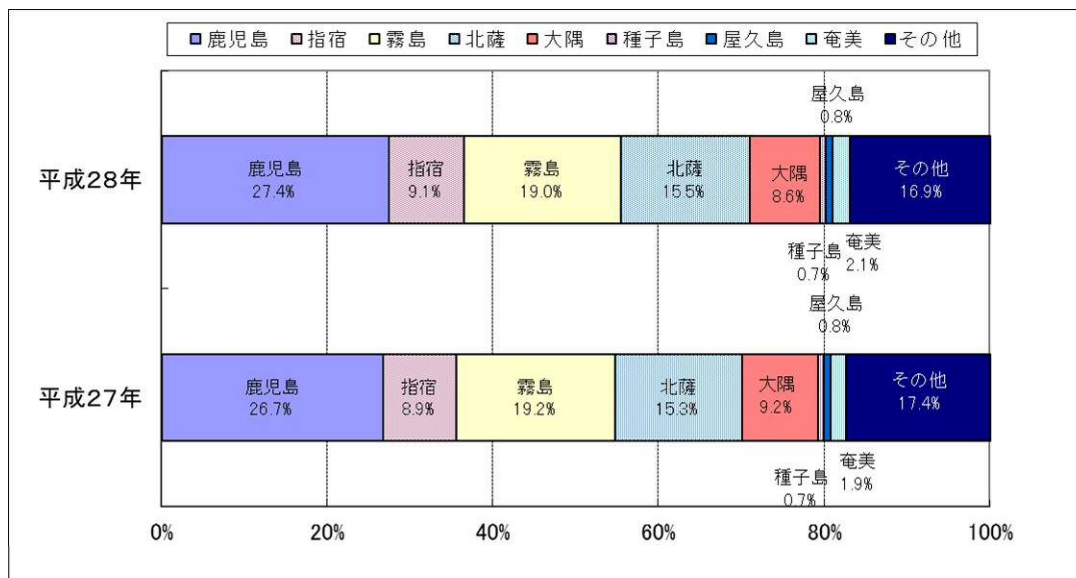
(人)					
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成28年	3,587,977	1,187,765	2,485,659	2,037,359	1,122,824
平成27年	3,788,147	1,258,342	2,725,335	2,167,025	1,304,144
前年比(増減率)	-5.3%	-5.6%	-8.8%	-6.0%	-13.9%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成28年	91,075	103,901	274,736	2,220,703	13,112,000
平成27年	102,018	111,887	275,401	2,469,702	14,202,000
前年比(増減率)	-10.7%	-7.1%	-0.2%	-10.1%	-7.7%

※平成 28 年と平成 27 年の観光地点数を同一にしているため、「平成 27 年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

### ■ 地区別延べ日帰り客数の構成比



## 2 地区別の動向

### (3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

平成28年の地区別延べ宿泊者数と地区別延べ日帰り客数の合算値は、県内全ての地区で前年を下回り、全体としては前年比8.4%の減少となった。

地区別構成比は、鹿児島地区(31.9%)が最も高く、次いで霧島地区(17.4%)、北薩地区(13.1%)となった。

(人)

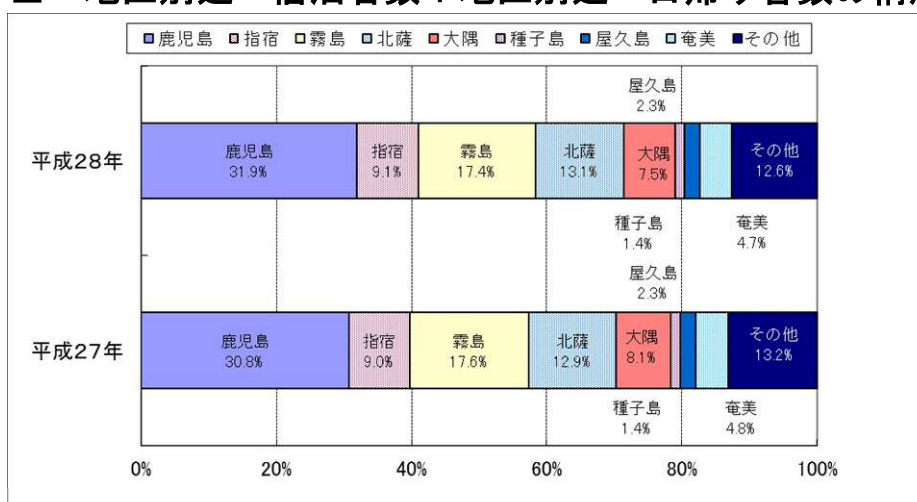
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成28年	6,489,063	1,841,594	3,530,061	2,663,948	1,519,019
平成27年	6,820,317	1,993,421	3,913,220	2,851,425	1,797,643
前年比(増減率)	-4.9%	-7.6%	-9.8%	-6.6%	-15.5%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成28年	292,024	466,130	961,616	2,550,714	20,314,190
平成27年	311,623	515,432	1,054,392	2,917,258	22,174,730
前年比(増減率)	-6.3%	-9.6%	-8.8%	-12.6%	-8.4%

※1 延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある(観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入している)。

※2 延べ日帰り客数は、平成28年と平成27年の観光地点数を同一にしているため、「平成27年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

### ■ 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数の構成比



## 2 地区別の動向

### (4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

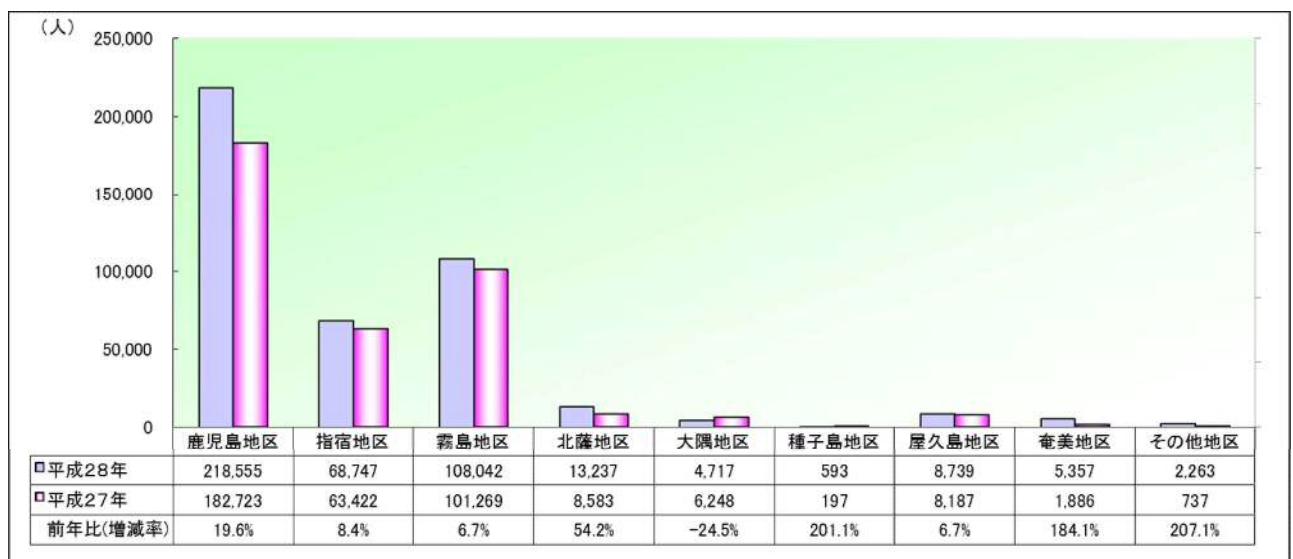
平成28年の地区別外国人延べ宿泊者数は、大隅以外の全ての地区で前年を上回り、全体としては前年比15.3%の増加となった。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成28年	218,555	68,747	108,042	13,237	4,717
平成27年	182,723	63,422	101,269	8,583	6,248
前年比(増減率)	19.6%	8.4%	6.7%	54.2%	-24.5%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成28年	593	8,739	5,357	2,263	430,250
平成27年	197	8,187	1,886	737	373,240
前年比(増減率)	201.1%	6.7%	184.1%	207.1%	15.3%

※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数で比較



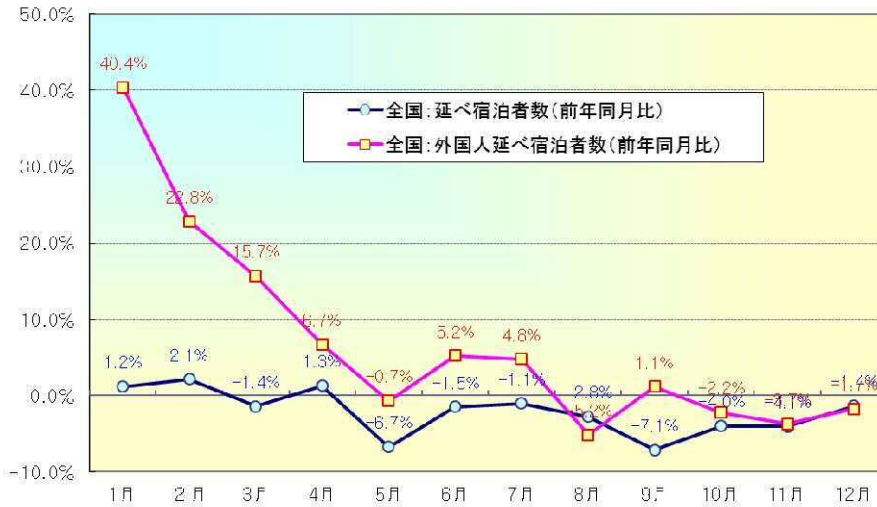
※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いて作図



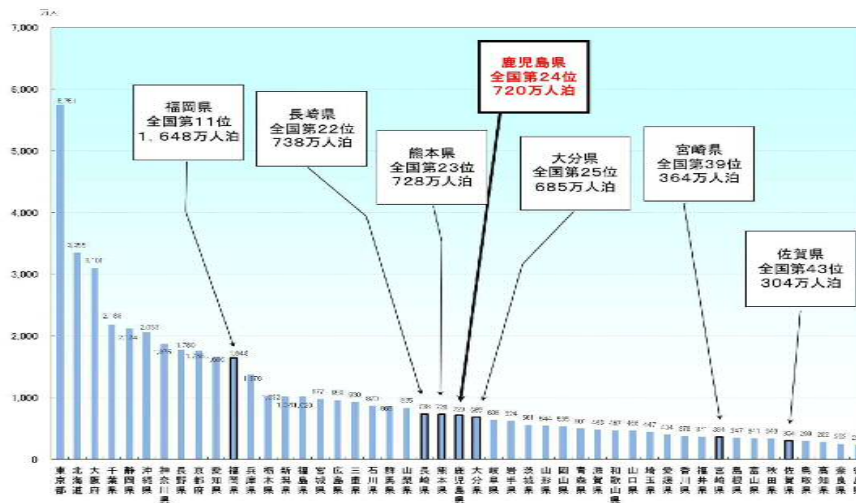
## 參考資料

# 1 全国における宿泊者の動向【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

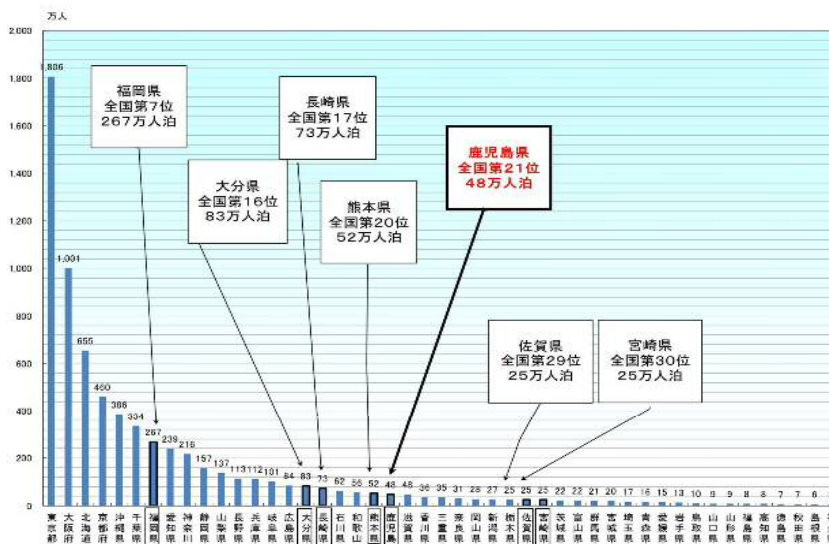
## (1) 月別延べ宿泊者数(平成28年)



## (2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成28年)

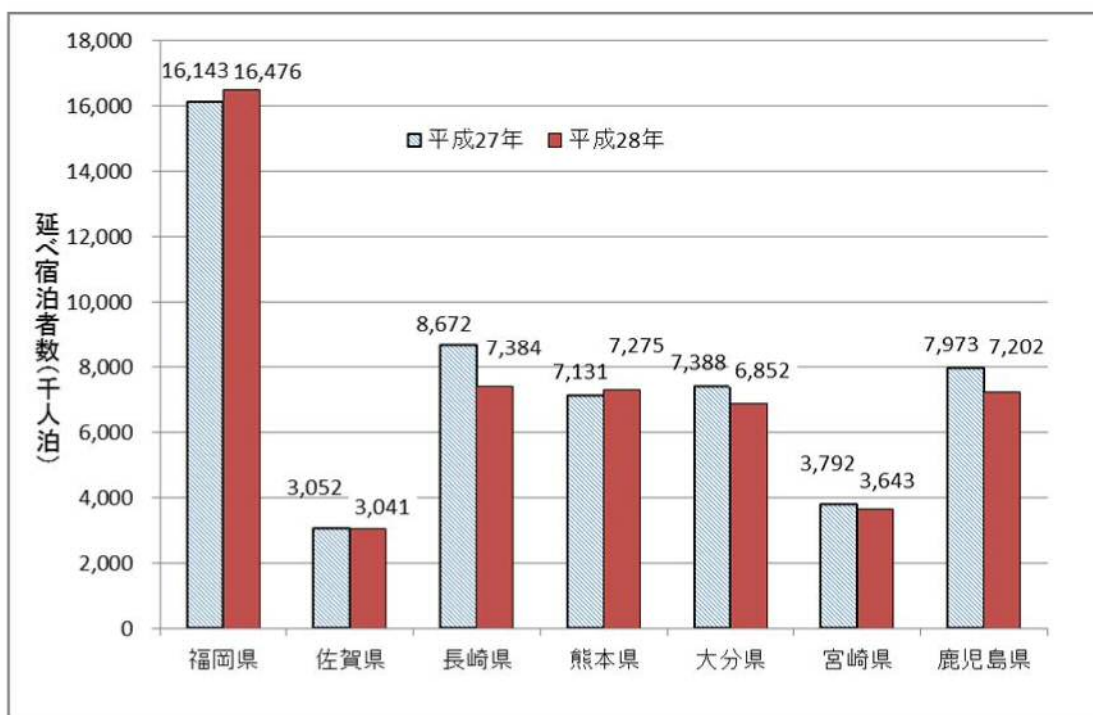


## (3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成28年)



## 2 九州における宿泊者の動向

(1) 九州各県別延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

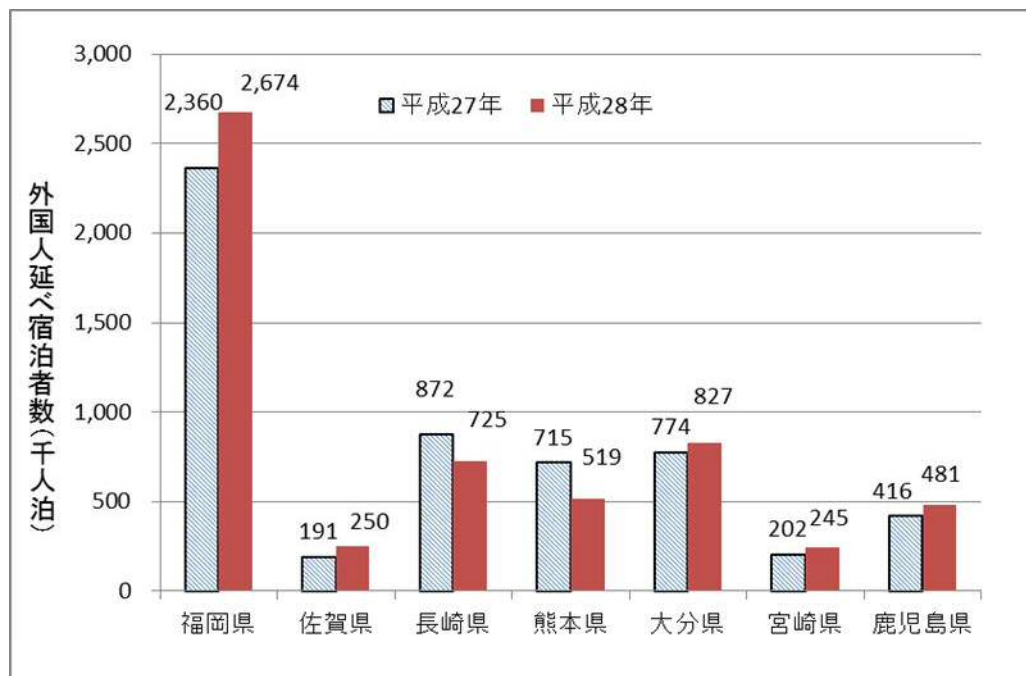


	平成27年	平成28年	単位：人泊		前年比 増減率
			全国順位	九州順位	
福岡県	16,143,170	16,475,930	11位	1位	2.1%
佐賀県	3,052,190	3,040,560	43位	7位	-0.4%
長崎県	8,672,440	7,383,780	22位	2位	-14.9%
熊本県	7,130,540	7,275,180	23位	3位	2.0%
大分県	7,388,270	6,851,540	25位	5位	-7.3%
宮崎県	3,792,000	3,643,200	39位	6位	-3.9%
鹿児島県	7,972,730	7,202,190	24位	4位	-9.7%
九州計	54,151,330	51,872,370			-4.2%
全国	504,078,370	492,485,160			-2.3%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

## 2 九州における宿泊旅行者の動向

### (2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



単位：人泊

	平成27年	平成28年	順位		前年比 増減率
			全国順位	九州順位	
福岡県	2,359,700	2,674,110	7位	1位	13.3%
佐賀県	191,120	249,640	29位	6位	30.6%
長崎県	872,190	725,420	17位	3位	-16.8%
熊本県	714,720	518,730	20位	4位	-27.4%
大分県	773,990	827,010	16位	2位	6.9%
宮崎県	201,880	245,180	30位	7位	21.4%
<b>鹿児島県</b>	<b>415,730</b>	<b>480,920</b>	<b>21位</b>	<b>5位</b>	<b>15.7%</b>
九州計	5,529,320	5,720,990			3.5%
全国	65,614,600	69,388,940			5.8%

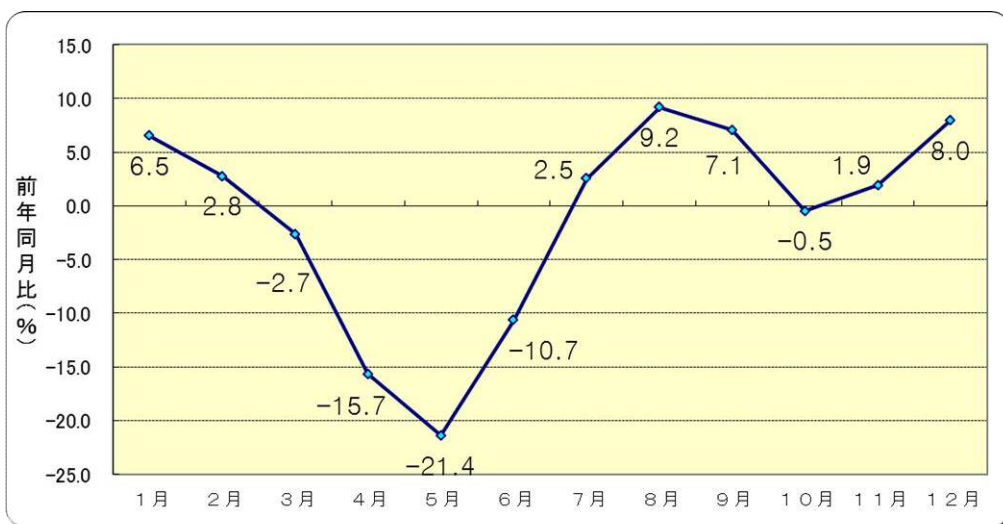
※従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数



### 3 鹿児島県観光動向調査

#### (1) 月別の宿泊客数

平成28年上半期の宿泊者数は前年を下回り、宿泊者数は7.1%減少した。  
平成28年下半期の宿泊者数は前年を上回り、宿泊者数は4.8%増加した。

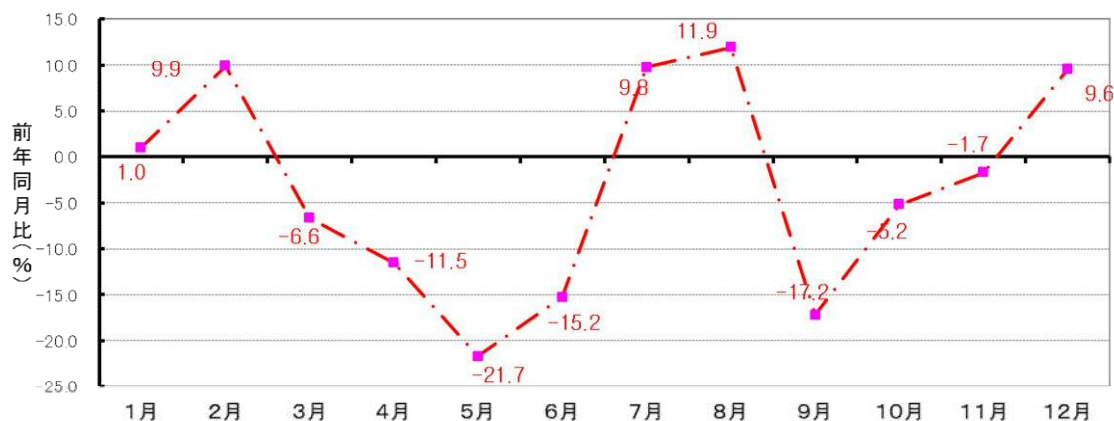


単位:人泊

宿泊客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成28年	260,066	269,730	319,255	215,280	237,829	210,621	256,381	358,958	293,122	287,770	307,351	292,444	3,308,807
平成27年	244,201	262,492	327,967	255,269	302,652	235,804	250,062	328,771	273,758	289,208	301,589	270,897	3,342,670
前年比	6.5%	2.8%	-2.7%	-15.7%	-21.4%	-10.7%	2.5%	9.2%	7.1%	-0.5%	1.9%	8.0%	-1.0%

#### (2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数

県内の主要観光施設・ドライブインの入場者数を前年と比較すると、3.9%の減少となった。



単位:人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成28年	798,676	392,267	534,798	419,935	588,014	267,955	375,587	704,417	467,334	489,431	549,436	468,134	6,055,984
平成27年	790,738	357,004	572,828	474,721	750,822	316,140	342,141	629,306	564,338	516,098	558,807	427,311	6,300,254
前年比	1.0%	9.9%	-6.6%	-11.5%	-21.7%	-15.2%	9.8%	11.9%	-17.2%	-5.2%	-1.7%	9.6%	-3.9%

### 3 鹿児島県観光動向調査

#### (3) 旅行形態別延べ宿泊客数

宿泊客を形態別にみると、個人客数は前年と比較すると0.7%増加し、団体客数は10.2%の減少となった。

《平成27年》 (単位:人,%)

	宿泊客数	構成比
合計	2,709,779	
個人客(含む家族・小グループ)	2,012,894	(74.3)
団体客(15名以上)	696,885	
一般団体・企画商品	574,742	(21.2)
大会	48,245	(1.8)
教育旅行	73,898	(2.7)

注:調査対象のうち回答があった施設の集計

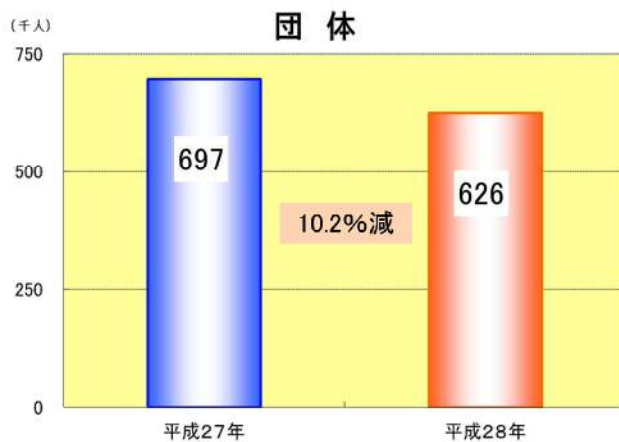
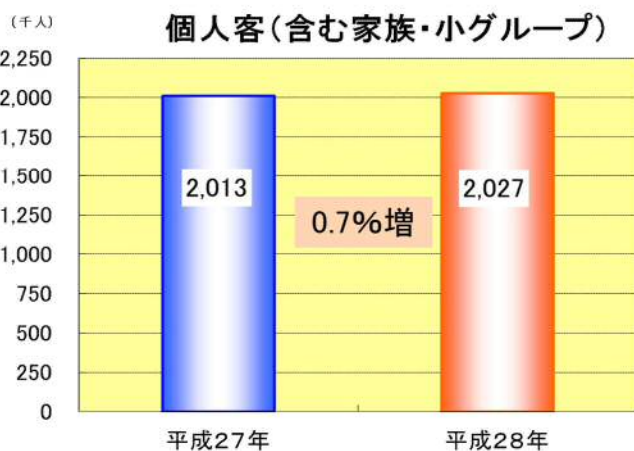
《平成28年》 (単位:人,%)

	宿泊客数	構成比
合計	2,652,689	
個人客(含む家族・小グループ)	2,026,940	(76.4)
団体客(15名以上)	625,749	
一般団体・企画商品	529,508	(20.0)
大会	43,704	(1.6)
教育旅行	52,537	(2.0)

注:調査対象のうち回答があった施設の集計

個人

団体

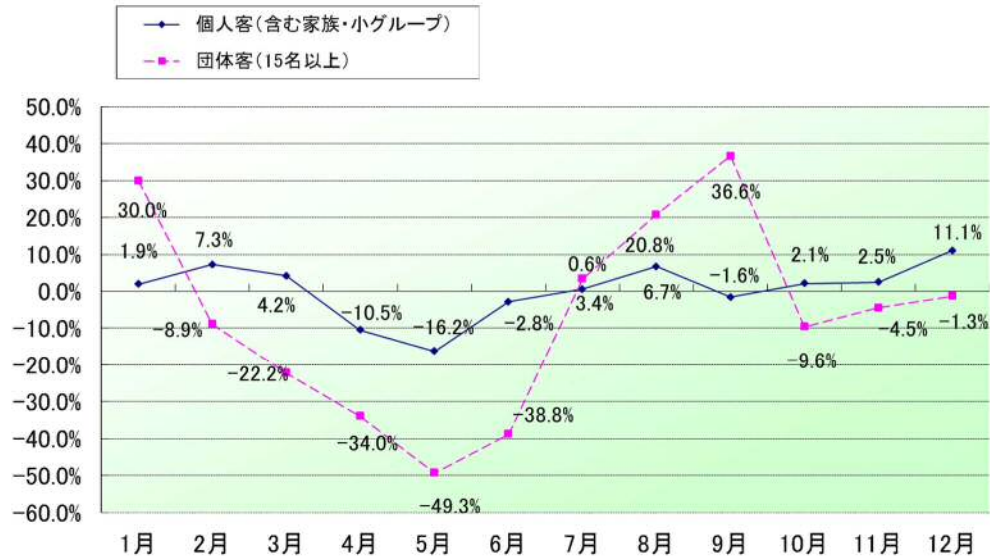


※1 調査対象のうち回答があった施設の集計

※2 平成27年の数値は、平成28年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成27年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

### 3 鹿児島県観光動向調査

#### (4) 月別旅行形態の動向 (対前年同月比)



単位:人

《個人客数》	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成28年	160,087	163,214	201,450	124,598	153,366	125,022	169,453	256,283	159,028	170,820	165,017	178,602	2,026,940
平成27年	157,040	152,147	193,353	139,211	183,112	128,620	168,435	240,235	161,631	167,275	161,021	160,814	2,012,894
前年比	1.9%	7.3%	4.2%	-10.5%	-16.2%	-2.8%	0.6%	6.7%	-1.6%	2.1%	2.5%	11.1%	0.7%

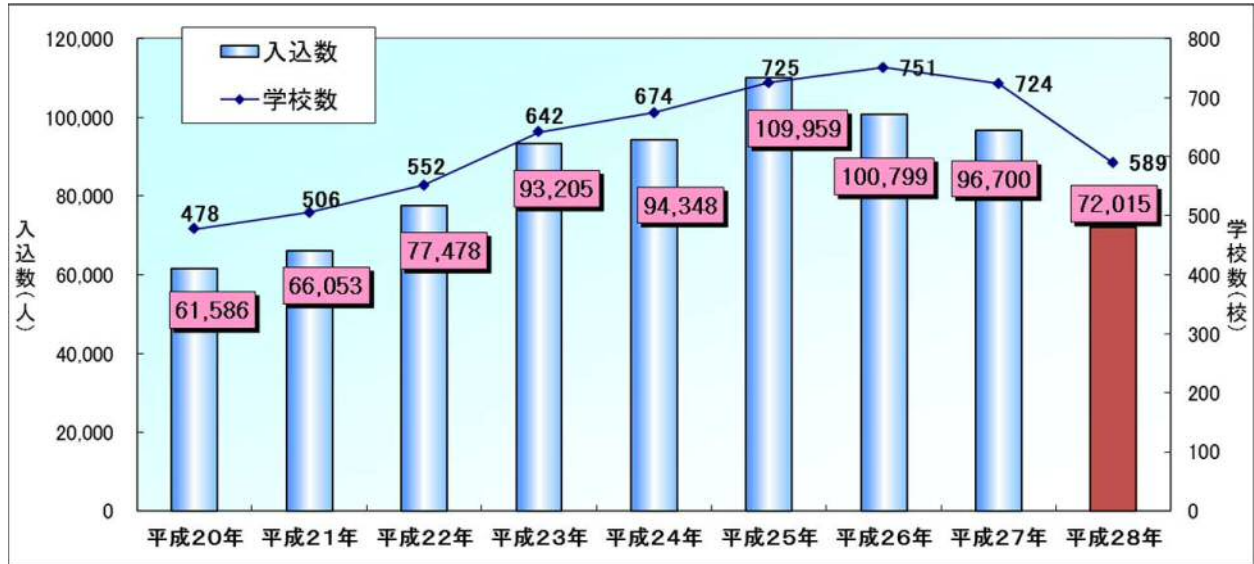
単位:人

《団体客数》	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成28年	56,241	55,479	65,992	36,024	34,281	36,660	37,752	44,514	64,138	63,648	70,852	60,168	625,749
平成27年	43,278	60,883	84,843	54,554	67,611	59,891	36,515	36,854	46,953	70,392	74,167	60,944	696,885
前年比	30.0%	-8.9%	-22.2%	-34.0%	-49.3%	-38.8%	3.4%	20.8%	36.6%	-9.6%	-4.5%	-1.3%	-10.2%

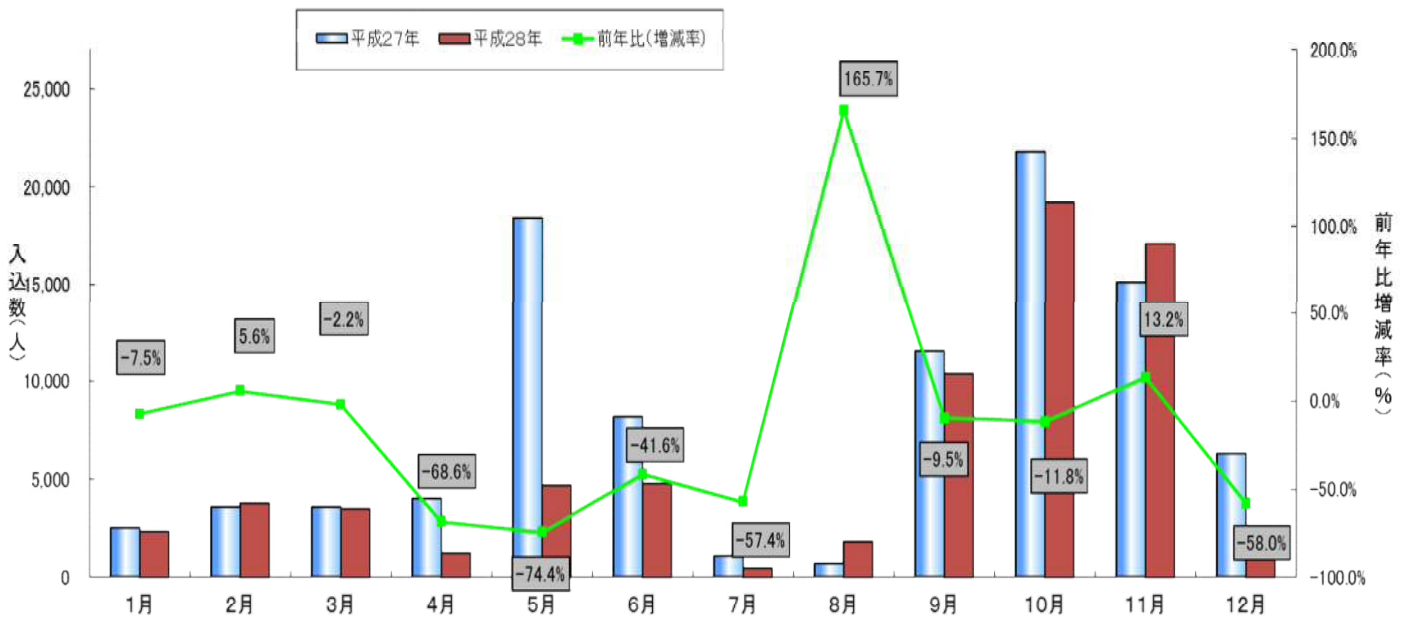
## 4 教育旅行の受入状況

出典：「平成28年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

### (1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（過去の推移）



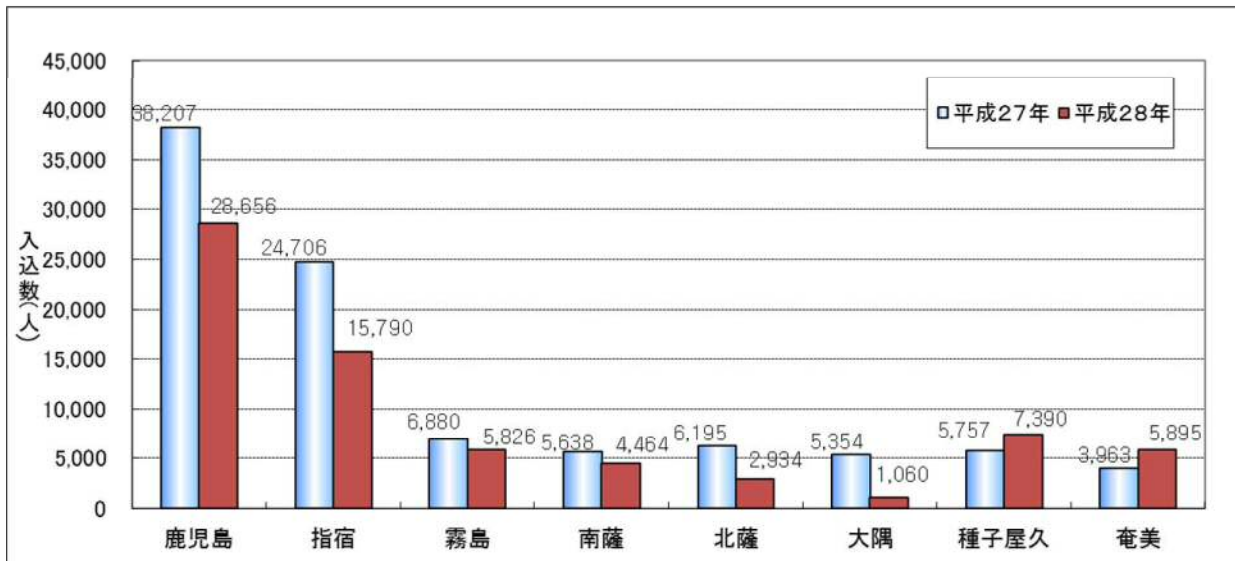
### (2) 月別の教育旅行の受入状況（平成27年～平成28年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位:人 合計
平成28年	2,337	3,764	3,492	1,249	4,699	4,782	463	1,820	10,417	19,223	17,114	2,655	72,015
平成27年	2,527	3,565	3,570	3,977	18,365	8,183	1,087	685	11,511	21,790	15,119	6,321	96,700
前年比(増減率)	-7.5%	5.6%	-2.2%	-68.6%	-74.4%	-41.6%	-57.4%	165.7%	-9.5%	-11.8%	13.2%	-58.0%	-25.5%

## 4 教育旅行の受入状況

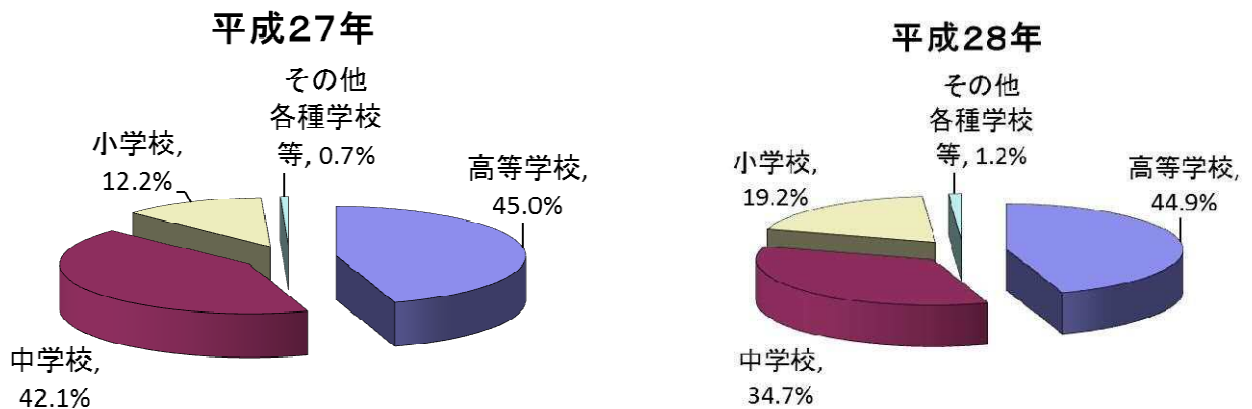
### (3) 県内地区別の教育旅行の受入状況（平成27年～28年）



単位：人

	鹿児島	指宿	霧島	南薩	北薩	大隅	種子屋久	奄美	合計
平成28年	28,656	15,790	5,826	4,464	2,934	1,060	7,390	5,895	72,015
平成27年	38,207	24,706	6,880	5,638	6,195	5,354	5,757	3,963	96,700
前年比(増減率)	-25.0%	-36.1%	-15.3%	-20.8%	-52.6%	-80.2%	28.4%	48.8%	-25.5%

### (4) 学校種別の構成比（平成28年対平成27年）

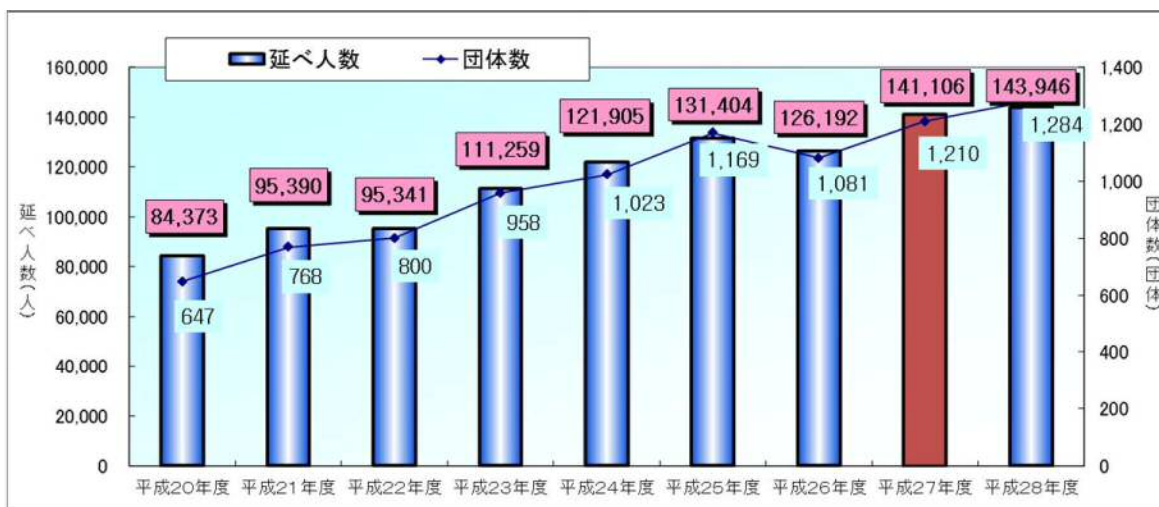


## 5 スポーツ合宿の受入状況

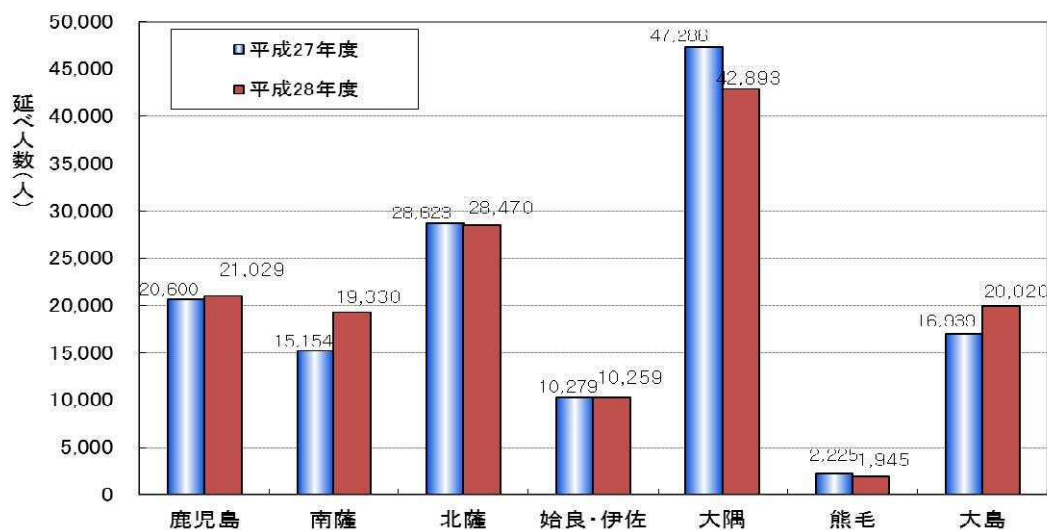
出典：「平成28年度スポーツキャンプ・合宿状況調査」

### (1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）

	平成28年度	平成27年度	対前年度比	
			増減数	増減率
延べ人数(人)	143,946	141,106	2,840	2.0%
実人数(人)	32,383	31,464	919	2.9%
団体数(団体)	1,284	1,210	74	6.1%



### (2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況

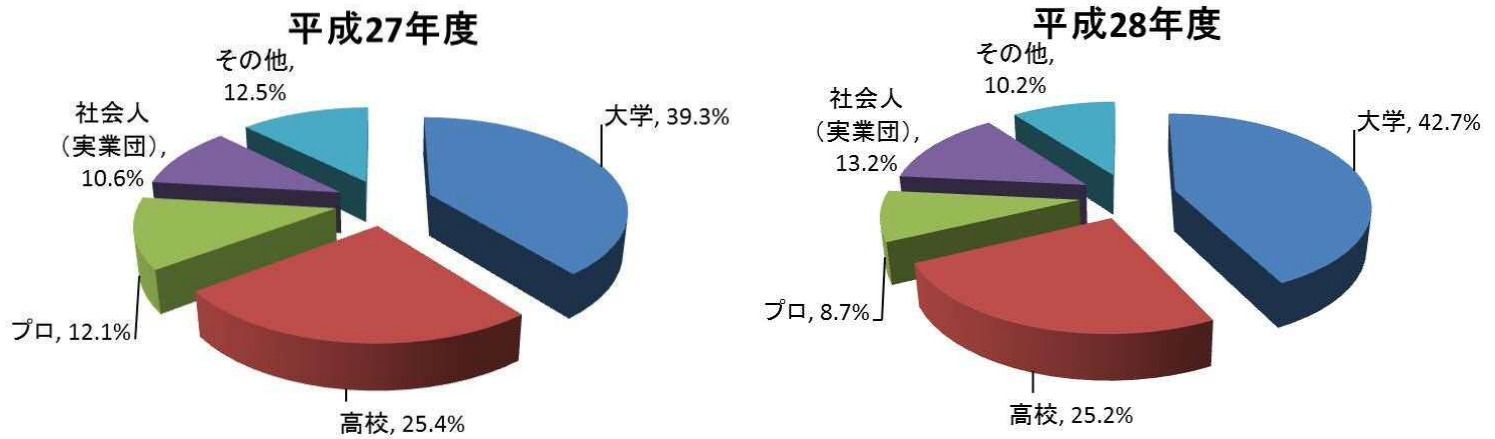


	鹿児島	南薩	北薩	姶良・伊佐	大隅	熊毛	大島
平成28年度	21,029	19,330	28,470	10,259	42,893	1,945	20,020
平成27年度	20,600	15,154	28,623	10,279	47,286	2,225	16,939
前年度比(増減率)	2.1%	27.6%	-0.5%	-0.2%	-9.3%	-12.6%	18.2%

単位：人

## 5 スポーツ合宿の受入状況

### (3) 団体区分（カテゴリー）の状況（構成比）



### (4) 発地別の状況

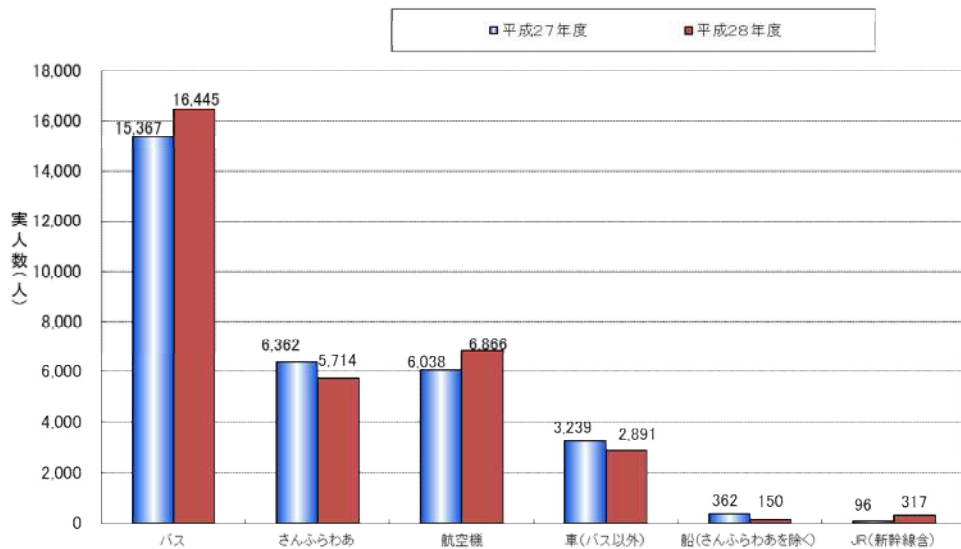


	九州・沖縄	関東甲信越	近畿	海外	東海・北陸	北海道・東北	中国	四国
平成28年度	57,154	29,421	30,716	9,488	7,015	3,822	4,365	1,965
平成27年度	53,501	28,936	27,956	15,344	4,733	4,275	3,735	2,626
前年度比(増減率)	6.8%	1.7%	9.9%	-38.2%	48.2%	-10.6%	16.9%	-25.2%

単位：人

## 5 スポーツ合宿の受入状況

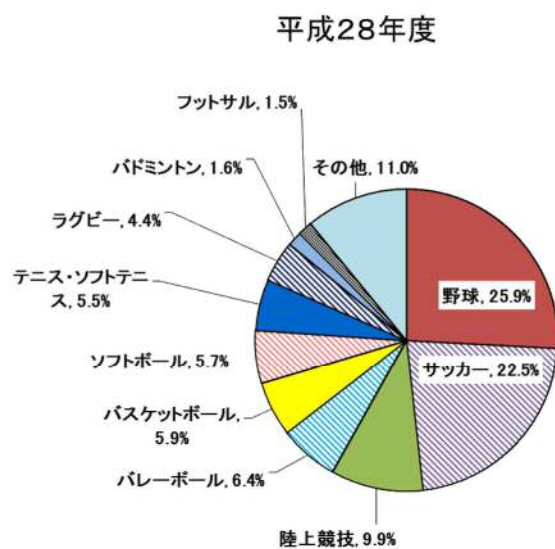
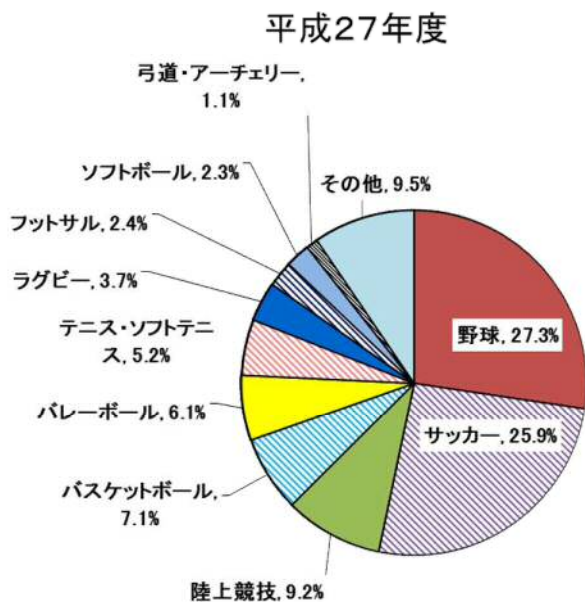
### (5) 交通手段の状況



	バス	さんふらわあ	航空機	車(バス以外)	船(さんふらわあを除く)	JR(新幹線含)
平成28年度	16,445	5,714	6,866	2,891	150	317
平成27年度	15,367	6,362	6,038	3,239	362	96
前年度比(増減率)	7.0%	-10.2%	13.7%	-10.7%	-58.6%	230.2%

単位: 人

### (6) 競技種目の状況





## 6 コンベンションの開催状況

【出典：県独自調査】

平成28年の県内のコンベンションの開催状況は、

- ・開催件数 201件（前年比7.4%減）
- ・参加者 149,258人（前年比1.4%減）

となった。

第11回国内観光活性化フォーラム・第2回地旅博覧会や、第59回春季日本歯周病学会学術大会等が開催されたことにより国際大会の件数、参加者は増加したが、全国大会は件数・参加者ともに減少、その他は件数は増加したものの参加者が減少したことにより、全体としては件数、参加者ともに減少した。

単位：件・人

	平成28年		平成27年		前年比(増減率)	
	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者
国際大会	11	18,008	6	3,075	83.3%	485.6%
全国大会	61	62,684	88	78,285	-30.7%	-19.9%
その他	129	68,566	123	70,000	4.9%	-2.0%
合計	201	149,258	217	151,360	-7.4%	-1.4%

※開催状況については、各市町村及び鹿児島観光コンベンション協会へ照会を行った回答を、県観光課で取りまとめた。

※平成27年に開催された国民文化祭で開催されたイベントは、本表には入っていない。

※コンベンションの計上については、会議・研修・スポーツ大会等を対象として計上。県内参加者のみの規模のコンベンションは含まない。

## 7 国際観光船受入状況

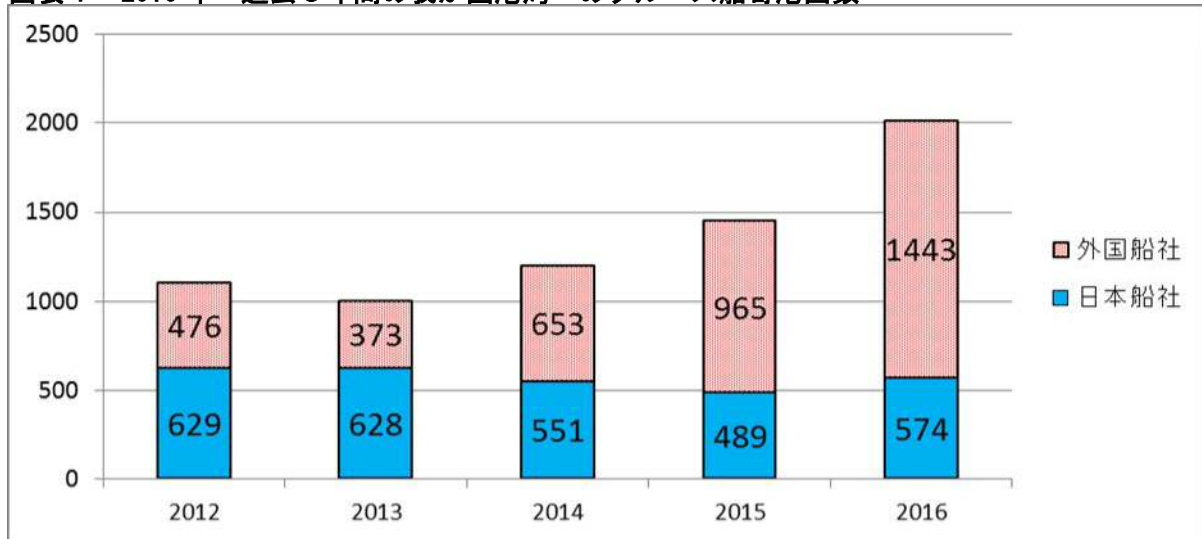
### (1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況

【出典：国土交通省「2016年の我が国のクルーズ等の動向（調査結果）」】

2016年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は以下のとおり。

- ・外国船社のクルーズ船 1,443回
  - ・日本船社のクルーズ船 574回
- 合計 2,017回（前年比38.7%増）

図表1 2016年 過去5年間の我が国港湾へのクルーズ船寄港回数



図表2 2016年 港湾別のクルーズ船寄港回数（上位10港）

全体			外国船社		国内船社			
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	博多	328	1	博多	312	1	横浜	87
2	長崎	197	2	長崎	190	2	神戸	72
3	那覇	193	3	那覇	183	3	名古屋	31
4	横浜	127	4	石垣(石垣島)	91	4	東京	17
5	神戸	104	5	平良(宮古島)	84	5	博多	16
6	石垣	95	6	鹿児島	80	6	宮之浦(屋久島)	14
7	平良	86	7	佐世保	62	7	広島	13
8	鹿児島	83	8	横浜	40	8	小樽	11
9	佐世保	64	9	広島	34	8	函館	11
10	広島	47	10	神戸	32	10	二見(父島)	10
						10	那覇	10

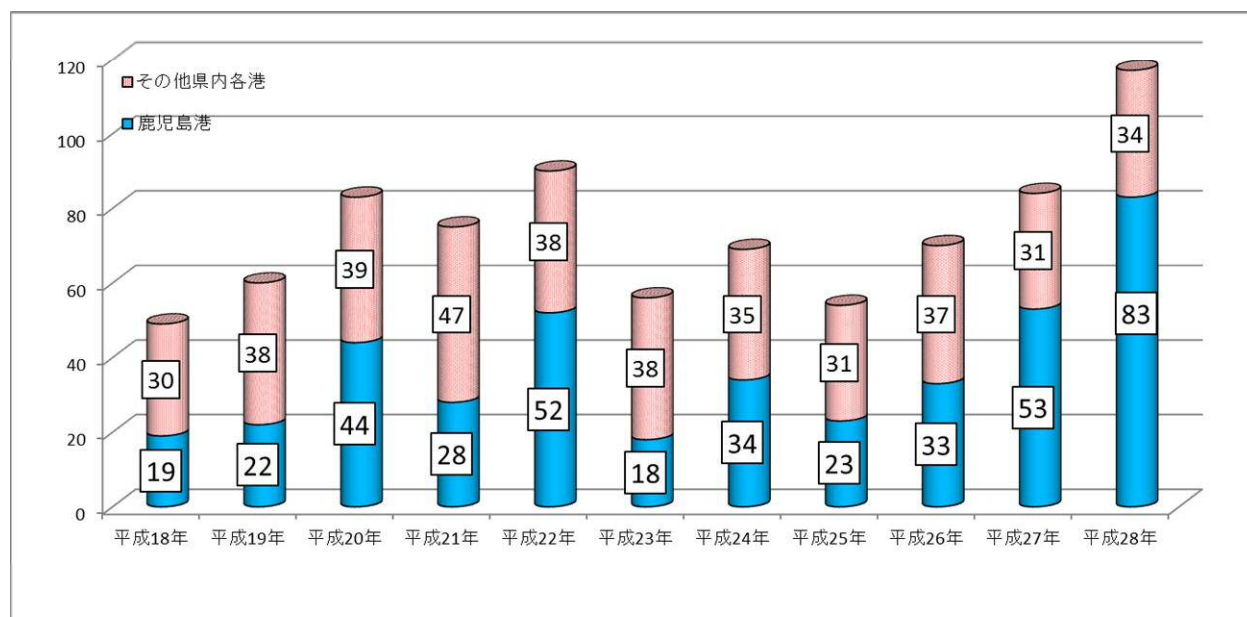
図表3 2012～2016年 外国港湾別のクルーズ船寄港回数（上位5港）

順位	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	85	石垣	59	博多	99	博多	245	博多	312
2	長崎	72	那覇	41	長崎	70	長崎	128	長崎	190
3	那覇	47	長崎	35	石垣	69	那覇	105	那覇	183
4	石垣	46	横浜	32	那覇	68	石垣	79	石垣(石垣島)	91
5	鹿児島	27	博多	19	横浜	48	鹿児島	51	平良(宮古島)	84

## 7 国際観光船受入状況

### (2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：県港湾空港課調べ】

県内各港(計)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
		49	60	83	75	90	56	69	54	70	84	117
内 訳	鹿児島港	19	22	44	28	52	18	34	23	33	53	83
	志布志港				1				1			
	指宿港						1		1			1
	西之表港			2	4	2	2	1		2	2	5
	宮之浦港	20	26	22	26	25	23	15	17	16	19	18
	名瀬港	6	4	5	11	4	4	9	7	13	6	6
	その他	4	8	10	5	7	8	10	6	5	4	4



平成 28 年 鹿児島県の観光の動向

～鹿児島県観光統計～

発 行 平成 29 年 10 月

編集・発行 鹿児島県 P R ・観光戦略部観光課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL : 099-286-3008

FAX : 099-286-5580

E-mail : k-kokunai@pref.kagoshima.lg.jp

URL :

[http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/  
kanko-tokusan/kanko/kankotokei/](http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/)